

NA-001/F-V2 ソフトウェア機能仕様書

株式会社イートラスト

第 1 版

目次

1.	はじめに.....	1
1.1.	用語.....	1
2.	概要.....	2
2.1.	機能概要.....	2
2.2.	外部インターフェース.....	2
2.3.	ソフトウェア構成.....	3
2.3.1.	ファームウェア.....	3
2.3.2.	構成要素.....	3
3.	ソフトウェア機能仕様.....	4
3.1.	呼制御変換.....	4
3.1.1.	発信.....	4
3.1.2.	着信.....	4
3.1.3.	着信拒否設定.....	4
3.1.4.	発信拒否設定.....	4
3.1.5.	番号プレフィックス除去機能.....	5
3.1.6.	ネットワークサービス設定について.....	5
3.1.7.	電話帳.....	5
3.1.8.	通話中のDTMF音操作について.....	7
3.1.9.	切断信号.....	7
3.2.	イベントログ.....	7
3.2.1.	記録.....	7
3.2.2.	イベント種別.....	8
3.2.3.	イベントログの表示.....	8
3.3.	SMS.....	9
3.3.1.	メッセージ.....	9
3.3.2.	送達通知.....	9
3.3.3.	メッセージの蓄積と参照.....	9
3.3.4.	リモート制御.....	9
3.3.5.	送信制御について.....	10
3.4.	通信モジュール管理.....	11
3.5.	ネットワーク設定.....	11
3.6.	運用管理.....	12

3.6.1.	装置基本情報.....	12
3.6.2.	装置設定データの入出力.....	12
3.6.3.	装置日付時刻の変更.....	12
3.6.4.	SYSLOG.....	12
3.6.5.	メール送信.....	13
3.6.6.	ファームウェア更新.....	14
3.6.7.	装置再起動.....	14
3.7.	Web 管理画面.....	15
3.7.1.	メニュー構成.....	15
3.8.	SD カード.....	18
3.8.1.	用途.....	18
3.8.2.	挿抜.....	18
3.9.	LED.....	18
3.10.	スイッチ.....	18
3.11.	その他.....	18
4.	操作仕様.....	19
4.1.	筐体各部名称.....	19
4.1.1.	筐体天面.....	19
4.1.2.	筐体前面.....	20
4.1.3.	筐体背面.....	22
4.2.	装置の起動と停止.....	23
4.2.1.	起動の前に.....	23
4.2.2.	起動.....	23
4.2.3.	停止.....	25
4.3.	電話操作.....	26
4.3.1.	発信.....	26
4.3.2.	着信.....	26
4.3.3.	オンフック.....	26
4.3.4.	通話音量の変更.....	27
4.4.	Web 管理画面.....	28
4.4.1.	Web 管理画面への接続.....	28
4.4.2.	画面構成.....	29
4.4.3.	ログイン画面.....	30
4.4.4.	サイドメニュー.....	31
4.4.5.	通話設定.....	34
4.4.6.	音量設定.....	36

4.4.7.	ダイヤル設定	37
4.4.8.	着信電話番号通知設定	38
4.4.9.	着信拒否設定	39
4.4.10.	着信拒否ポリシー	40
4.4.11.	着信ホワイトリスト	42
4.4.12.	着信許可番号	43
4.4.13.	着信ブラックリスト	44
4.4.14.	着信拒否番号	45
4.4.15.	発信拒否設定	46
4.4.16.	番号プレフィックス除去設定	47
4.4.17.	番号プレフィックス除去機能	48
4.4.18.	番号プレフィックス編集	49
4.4.19.	切断信号設定	50
4.4.20.	通信モジュール	51
4.4.21.	通信モジュールソフトウェア更新	52
4.4.22.	ネットワーク	53
4.4.23.	ネットワーク状態	54
4.4.24.	ネットワークインタフェース設定	55
4.4.25.	ネットワークインタフェース編集	56
4.4.26.	スタティックルートを設定	58
4.4.27.	スタティックルートを編集	59
4.4.28.	DNS サーバ設定	60
4.4.29.	運用管理	61
4.4.30.	装置基本情報	63
4.4.31.	装置名称	64
4.4.32.	Web 管理画面	65
4.4.33.	管理用アカウントパスワード変更	66
4.4.34.	ユーザアカウントパスワード変更	67
4.4.35.	画面配色	68
4.4.36.	設定データ	69
4.4.37.	設定データファイルアップロード	70
4.4.38.	設定データ初期化	71
4.4.39.	装置日付時刻	72
4.4.40.	システム日時	73
4.4.41.	時刻同期	74
4.4.42.	SYSLOG	75

4.4.43.	SYSLOG 設定	76
4.4.44.	SYSLOG 転送	77
4.4.45.	SMS 設定	78
4.4.46.	SMS 再送設定	79
4.4.47.	SMS リモート制御	80
4.4.48.	メール送信設定	81
4.4.49.	SMTP 設定	82
4.4.50.	イベントメール送信設定	84
4.4.51.	装置ファームウェア更新	85
4.4.52.	装置ファームウェアアップロード完了	86
4.4.53.	装置再起動	88
4.4.54.	装置再起動の実行	89
4.4.55.	定期再起動設定	90
4.4.56.	イベントログ	91
4.4.57.	イベントログ設定	92
4.4.58.	イベントフィルタ	93
4.4.59.	ログアウト	95
4.4.60.	SMS	96
4.4.61.	SMS フィルタ	100
4.4.62.	電話帳	102
4.4.63.	電話番号一覧	103
4.4.64.	グループ一覧	106
4.4.65.	電話帳データファイル	109
4.4.66.	電話番号登録	110
4.4.67.	電話番号編集	112
4.4.68.	電話番号フィルタ	115
4.4.69.	グループ参加	116
4.4.70.	グループ登録	117
4.4.71.	グループ編集	118
4.4.72.	メンバー追加	121
4.4.73.	グループフィルタ	122
4.4.74.	電話帳データファイルインポート	123
4.4.75.	SMS 送信予約画面	124
4.4.76.	SMS 送信予約入力画面	125
4.4.77.	SMS 送信予約実行結果画面	127
4.5.	SSH サーバ	128

5. ファイル仕様	129
5.1. 設定データファイル.....	129
5.1.1. ファイル形式.....	129
5.1.2. オプションの型.....	129
5.1.3. オプション説明.....	130
5.2. イベントログダウンロードファイル.....	137
5.2.1. ファイル形式.....	137
5.2.2. CSV ファイルレコードフォーマット.....	137
5.3. SYSLOG ダウンロードファイル.....	144
5.3.1. ファイル形式.....	144
5.4. テクニカルサポート情報ダウンロードファイル.....	144
5.4.1. ファイル形式.....	144
5.4.2. ファイル内容.....	144
5.5. 電話帳ファイル.....	146
5.5.1. 電話番号ファイル.....	146
5.5.2. グループファイル.....	147
5.6. SD カード.....	148
5.6.1. メディア.....	148
5.6.2. フォーマット.....	148
5.6.3. データ交換用パーティション.....	148
5.6.4. データ蓄積用パーティション.....	148
6. 制限事項	149
6.1. アナログ電話機.....	149
6.2. 通信モジュール.....	149
7. 更新履歴	150

1. はじめに

本書は、NA-001/F-V2 に搭載するソフトウェア機能仕様を示します。

1.1. 用語

本書で用いる用語について次に示します。

用語	説明
NA-001/F-V2	本装置の名称です。
通信モジュール	搭載する携帯網通信モジュールです。本装置においては、FOMA ユビキタスマジュールを指します。
アナログ電話機	2線式アナログ回線インタフェースへ接続する通話用の端末です。

2. 概要

2.1. 機能概要

NA-001/F-V2(以下、本装置)は、通信モジュールの音声通話機能をアナログ電話機から利用するための装置です。本装置のソフトウェアは、次の機能を持ちます。

機能	説明
呼制御変換	本装置は、アナログ電話機に対して固定網側交換機として振る舞い、携帯通信網との間で呼制御を変換します。
SMS 送受信機能	SMS の送信および受信を行います。
運用支援機能	本装置ユーザに対して、装置の各種状態の表示および、機能設定の変更手段を提供します。

2.2. 外部インターフェース

本装置の外部インターフェースの概略を「図 1 NA-001/F-V2 主要インターフェース」に示します。

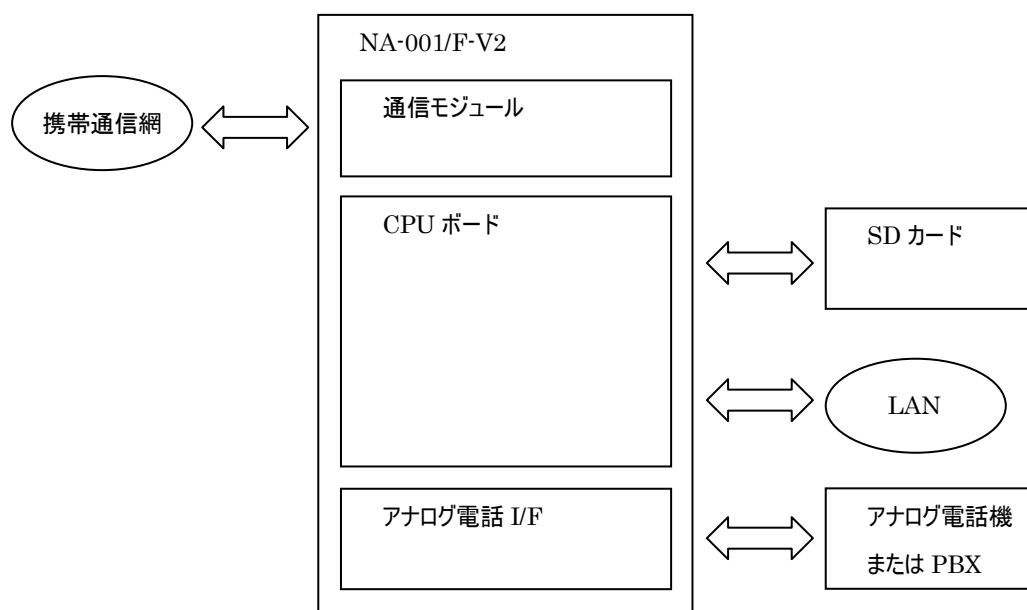


図 1 NA-001/F-V2 主要インターフェース

本装置は次の外部インターフェースを持ちます。

インターフェース	説明
携帯網通信アンテナ	通信モジュールを介して、携帯通信網と接続します。
アナログ電話インターフェース	本装置は、2 線式アナログ回線インターフェースをもち、アナログ電話機または PBX の外線側を接続することができます。
Ethernet ポート	本装置は、Ethernet ポートを持ち、LAN と接続することができます。内蔵 Web サーバ機能により、LAN 上の PC から機能設定を行うことができます。

SD カードスロット	SD カードへ動作ログの出力をすることができます。
------------	---------------------------

2.3. ソフトウェア構成

2.3.1. ファームウェア

本装置のソフトウェアは、内蔵フラッシュメモリに格納するファームウェアとして構成します。ファームウェアは、ソフトウェア機能変更や不具合修正の際に更新することができます。

2.3.2. 構成要素

本装置のソフトウェアは次の要素で構成します。

要素	説明
Linux カーネル	OS カーネルとして Linux を利用します。
ルートファイルシステム	各種オープンソフトウェアを利用して、システムの基本機能を構成します。
アプリケーション	呼制御変換および、運用支援機能を Linux システム上のアプリケーションとして実装します。

3. ソフトウェア機能仕様

3.1. 呼制御変換

3.1.1. 発信

オフフックとDTMF信号を検知、発信先電話番号を判定し、通信モジュールへ対してATDコマンドを送出します。

発信先電話番号桁数判定のために桁間タイマを設けます。発信番号入力中時において、桁と桁の間隔が一定時間経過した場合、入力済み桁をもって発信します。

“#”を入力された場合は、“#”前の番号でただちに発信します。

3.1.2. 着信

通信モジュールから着信通知を受信し、アナログ電話へ対して呼出信号を送出します。

着信電話番号通知機能が有効の場合、通信モジュールから通知される着信電話番号を、固定網におけるナンバーディスプレイサービスと同等の手続きでアナログ電話へ通知します。

3.1.3. 着信拒否設定

着信を拒否するポリシーをあらかじめ設定することができます。

3.1.3.1. 拒否設定

次から一つ選ぶことができます。

- すべて拒否
- ブラックリストに載っている番号を拒否
- ホワイトリストに載っている番号以外を拒否
- 電話帳に登録されていない番号を拒否
- 指定グループに属さない番号を拒否
- 指定グループに属している番号を拒否
- 拒否しない

3.1.3.2. ブラックリスト

着信拒否対象番号のリストを持ちます。番号は最大 200 件登録できます。

3.1.3.3. ホワイトリスト

着信許可対象番号のリストを持ちます。番号は最大 200 件登録できます。

3.1.4. 発信拒否設定

発信を拒否するポリシーを指定できます。

3.1.4.1. 拒否設定

次から一つ選ぶことができます。

- すべての発信を拒否
- 電話帳に登録されていない番号への発信を拒否
- 指定グループに属さない番号への発信を拒否
- 指定グループに属している番号への発信を拒否
- 発信拒否しない

緊急番号(110, 118, 119)への発信は、上記設定にかかわらず拒否しません。

3.1.5. 番号プレフィックス除去機能

アナログインタフェースより入力された電話番号から、先頭の特定の番号列(番号プレフィックス)を除去する機能です。マイライン事業者識別番号の除去に利用できます。

3.1.5.1. 番号プレフィックスの登録

番号プレフィックスは最大 16 件登録できます。

3.1.6. ネットワークサービス設定について

3.1.6.1. 設定変更

留守番電話、転送でんわ、キャッチホンの各サービスについての設定は、アナログ電話機からの DTMF 信号によって操作できます。

3.1.7. 電話帳

電話番号を電話帳に登録し、名前を付けることができます。また、登録した電話番号をグループに分けて管理できます。電話帳は次の用途に使用します。

- Web 管理画面の SMS 一覧およびイベントログ一覧上の電話番号を名前で表示する。
- グループを指定して、SMS を複数宛先に送信する。
- 着信拒否および発信拒否の対象として利用できる。

登録は Web 管理画面より行います。また、登録データのファイルによる入出力が可能です。

3.1.7.1. 電話番号管理

電話番号を 1000 件まで登録できます。各電話番号に名前と備考を設定できます。登録には次の制限があります。

- 同じ電話番号を重複して登録することはできません。
- 名前は 15 文字までです。文字にスペースとカンマは利用できません。先頭文字には数字、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)を使用できません。

- 登録済みの名前(グループ名を含む)と重複して登録することはできません。
- 備考は 32 文字までです。

登録内容は Web 管理画面において参照・編集ができます(4.4.63 節)。名前、電話番号、備考文字列による検索ができます(4.4.68 節)。

3.1.7.2. グループ管理

グループを 100 件まで登録できます。登録済み電話番号をグループ分けできます。一つの番号は複数のグループに属することができます。グループに属する番号は 100 件までです。グループに対して名前と備考を設定できます。登録には次の制限があります。

- 名前は 15 文字までです。文字にスペースとカンマは利用できません。先頭文字には数字、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)を使用できません。
- 登録済みのグループ名および電話番号名と重複して登録することはできません。
- 備考は 32 文字までです。

登録内容は Web 管理画面において参照・編集ができます(4.4.64 節)。名前、備考文字列による検索ができます(4.4.73 節)。

3.1.7.3. 電話帳ファイル

登録済みの電話番号およびグループの内容を電話帳ファイルへ出力することができます。また、電話帳ファイルを本装置へ入力することができます。ファイル仕様は 5.5 節に示します。

3.1.8. 通話中の DTMF 音操作について

TEL 端子からの DTMF 音はそのまま FOMA 網側へ送出されます。自動応答システムなど、DTMF 音によってメニュー操作を行うような使い方ができます。

相手側のシステムによっては、DTMF 音を AT コマンドへ変換する必要があります。通話中の DTMF 音を AT コマンドに変換するかどうかを選択することができます。

音声ガイドランスに従って DTMF 音による操作をしても受け付けられないというような場合は、AT コマンドへの変換を有効にしてみてください。逆に、DTMF 音による操作が誤認識されるような場合は、AT コマンドへの変換を無効にしてみてください。

3.1.9. 切断信号

3.1.9.1. 発信側先掛け

NA-001/F からアナログ端子側へ切断信号を送出します。送出する条件は次の通りです。

- FOMA 側から発信、アナログ端子側が着信であるとき(極性が反転していない場合)。
- FOMA 側から切断したとき(発信側先掛け)。

切断信号は、転極パルスで示します。極性を反転させる時間は 0.6 秒です。

切断信号送出後、アナログ端子側へ BT 音を送出します。

切断信号を送信するかどうかは、管理画面(4.4.19 節)で選択することができます。‘

3.1.9.2. 着信側先掛け

アナログ端子側が発信で FOMA 側が着信の場合において、FOMA 側から切断(着信側先掛け)した場合は切断信号は送出しませんが、このタイミングで復極します。

3.2. イベントログ

発着信イベントや、システムイベント等のログを記録します。

3.2.1. 記録

3.2.1.1. ログ項目

イベントは次の項目からなります。

項目	内容
タイムスタンプ	イベント発生日時
イベント種別	発生したイベントの種別
パラメータ	イベント種別毎の補足情報

蓄積する件数は直近 1 万件とします。

3.2.1.2. 発着信イベントの記録について

音声発着信イベントについては、記録するかどうかを選択することができます。

3.2.2. イベント種別

イベント	内容	パラメータ
発信	音声発信開始時	電話番号
発信失敗	音声発信失敗時	電話番号、失敗要因
着信	音声着信時	電話番号
応答	音声発信後相手が応答または、音声着信後こちらが応答	電話番号
着信拒否	着信拒否設定により着信拒否した	電話番号、拒否要因
切断	通話終了時	電話番号、通話時間
ソフトウェア更新状態通知	通信モジュールソフトウェア更新状態通知の受信時	更新開始/更新失敗/更新完了/更新不要
SMS 送信	SMS 送信時	相手番号、参照番号、本文
SMS 送達通知	SMS 送達通知受信時	相手番号、参照番号
SMS 受信	SMS 受信時	相手番号、本文
SMS 送信失敗	SMS 送信失敗時	相手番号、失敗要因
SMS 送信予約実行	SMS 送信予約実行時	実行開始/実行完了/実行中止、スケジュール番号
日次集計	日付変更時に前日の音声発着信数、通話時間、SMS 送受信数合計を記録	発信数、着信数、通話時間、送信数、受信数
電波状態変化	圏内／圏外の変化時	圏内／圏外
起動	ソフトウェア起動時	ファームウェアバージョン
停止	ソフトウェア終了時	稼働時間

3.2.3. イベントログの表示

Web 管理画面においてイベントログを参照することができます。

表示するログは最大 500 件です。

ログは次の項目で絞り込むことができます。

- イベント種別
- 発生期間
- 電話番号

表示順はタイムスタンプによって昇順／降順を選択することができます。

表示されているログを csv 形式のテキストファイルとしてダウンロードすることができます。ファイル仕様は 5.2 節に示します。

3.3. SMS

SMS(ショートメッセージサービス)の送受信機能を実装します。

3.3.1. メッセージ

送受信するメッセージの仕様を示します。

文字コード	GSM 7-bit default alphabet または UCS-2
メッセージ長	160 文字(GSM 7-bit default alphabet の場合) 70 文字(UCS-2 の場合)

ユーザから入力された各文字がすべて GSM 7-bit default alphabet で表現できる場合は、GSM 7-bit default alphabet で送信します。GSM 7-bit default alphabet で表現できない文字が一つでも含まれている場合は UCS-2 で送信します。

3.3.2. 送達通知

メッセージを送信する際、送達通知を受け取るよう設定します。

3.3.3. メッセージの蓄積と参照

送受信したメッセージは直近の 1 万件を蓄積します。Web 管理画面より蓄積メッセージを参照できます。

3.3.4. リモート制御

本装置あてにメッセージを送ることにより、次の制御を行うことができます。

制御	送信メッセージ	返信メッセージ	説明
再起動要求	reboot	command('reboot') accepted.	返信をした後、再起動します。
エコー要求	echorequest [エコー文字列]	echoreply [エコー文字列]	送信メッセージのエコー文字列を返信します。
IP アドレス要求	ipaddr	[IP アドレス]	LAN(eth0)の IP アドレスを返信します。
IMEI 要求	imei	[IMEI] [リビジョン]	搭載通信モジュールの IMEI とリビジョンを返信します。
状態要求	stat	MAC アドレス=[eth0 ポートの MAC アドレス], バージョン=[ファームウェアバージョン],	MAC アドレス、ファームウェアバージョン、電波強度、温度を返信します。

		電波強度=[電波強度値], 温度=[筐体内温度]	
--	--	-----------------------------	--

リモート制御を本装置に対して送ることができるのは、あらかじめ登録した電話番号からのみです。電話番号は Web 管理画面で 3 つまで登録できます。

3.3.5. 送信制御について

3.3.5.1. 送信キュー

Web 管理画面より受け付けた SMS 送信メッセージは送信キューにいったん蓄積し、バックグラウンドプロセスにより順次送信を実行します。送信実行には 1 通当たり数秒かかるため、多数のメッセージの送信要求を短時間に受けた場合には、すべてを送り終わるまで時間がかかります。送信キューには 100 通まで格納できます。

3.3.5.2. 音声通話との排他

通話中は、SMS 送信実行を一時停止し、通話終了後に再開します。ただし、通話中の SMS 受信は可能です。

3.3.5.3. 送信失敗

電波状況などにより送信に失敗したメッセージは 2 回まで再送を試みます。2 回再送を失敗した場合は、SMS 送信失敗イベントを要因とともに記録します。

再送回数は管理画面(4.4.46 節)において次から選択できます。

- 2 回(デフォルト)
- 5 回
- 10 回
- 再送なし

3.4. 通信モジュール管理

Web 管理画面(4.4.20 節)において、通信モジュールの情報、状態を表示することができます。通信モジュールのソフトウェア更新を行うことができます。

3.5. ネットワーク設定

本装置は、Ether0 ポートを LAN に接続して利用します。LAN を利用する機能は次の通りです。

- Web 管理画面
- NTP クライアント
- SYSLOG 転送
- メール送信

ネットワーク機能については、次の設定をすることができます。

- IP アドレス設定(固定アドレス設定/DHCP 設定)
- スタティックルート設定
- DNS サーバアドレス設定

3.6. 運用管理

次の装置運用管理機能を実装します。

- 装置基本情報
- 装置設定データの入出力
- 装置日付時刻の変更
- SYSLOG
- メール送信
- ファームウェア更新
- 装置再起動

3.6.1. 装置基本情報

3.6.1.1. Web 管理画面表示

Web 管理画面(4.4.30 節)に次の情報を表示します。

項目	説明
装置名称	装置を識別するための名称です。Web 管理画面より変更できます。
MAC アドレス	Ether0 ポートの MAC アドレスです。
ファームウェアバージョン	稼働中のファームウェアのバージョンです。
メモリ使用量	メモリ使用量です。

3.6.1.2. テクニカルサポート情報

Web 管理画面より、テクニカルサポート情報ファイルをダウンロードできます。装置の稼働状況の詳細を記載しています。ファイル内容については 5.4 節に示します。

3.6.2. 装置設定データの入出力

装置設定データの入出力を行うことができます。ファイル内容については 5.1 節に示します。装置設定データには電話帳登録内容は含みません。

3.6.3. 装置日付時刻の変更

装置内蔵時計の時刻の表示および変更を行うことができます。また、通信モジュールまたは外部 NTP サーバとの時刻同期を行うことができます。

3.6.4. SYSLOG

3.6.4.1. SYSLOG の記録

SD カード上に SYSLOG を記録します。記録する主な内容は次の通りです。

ログ種別	ファシリティ	プライオリティ	備考
------	--------	---------	----

AT コマンド	LOCAL0	INFO	アプリケーションが通信モジュールとやりとりした AT コマンドおよびリザルトコードを記録します。
イベントログ	LOCAL1	INFO	イベントログを記録します。メッセージはカンマ区切り文字列です。各フィールド内容はイベントログファイル(5.2 節)と同じです。
アプリケーション動作ログ	USER	*	アプリケーション動作ログを記録します。
カーネルログ	KERN	*	Linux カーネルログです。

3.6.4.2. SYSLOG の転送

syslog を外部サーバへ転送することができます。各ログのヘッダのホスト名には 4.4.31 節で指定されたものを使用します。

3.6.5. メール送信

本装置で発生したイベント(3.2 節)を電子メールで指定アドレスへ送信することができます。

3.6.5.1. SMTP 設定

メール送信は、外部の SMTP サーバを利用します。プロバイダメール等のアカウントを用意してください。本装置の SMTP クライアントは、通信保護(SSL, STARTTLS)、SMTP 認証に対応しています。

3.6.5.2. イベントメール送信設定

メールで送信するイベントの種別と、メールの送信先を指定することができます。送信先は 3 件まで登録できます。

メールの送信は、イベントの発生から 1 分後に行います。この 1 分の間に発生したイベントは、契機となったイベントとともにひとつのメールで送ります(図 2 イベントメール送信タイミング)。

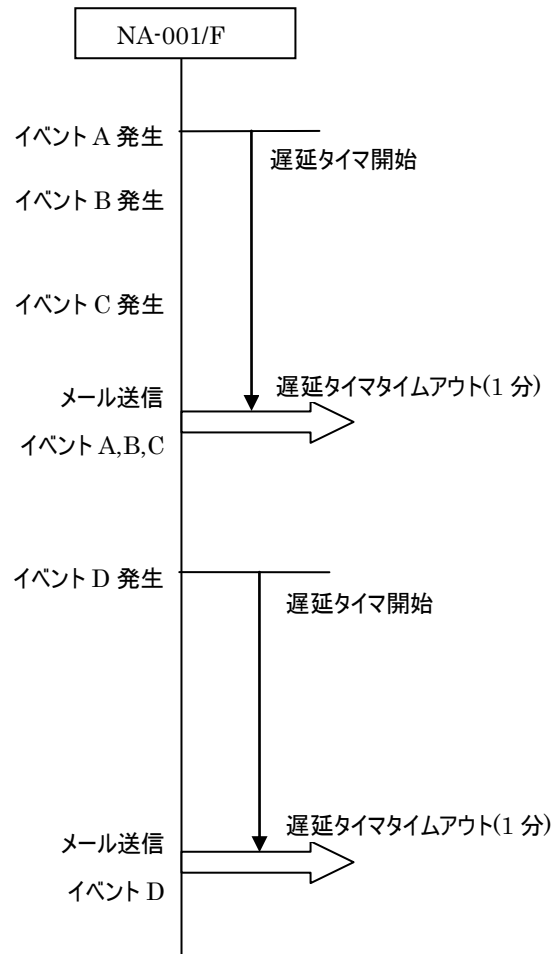


図 2 イベントメール送信タイミング

3.6.6. ファームウェア更新

本装置内蔵ファームウェアを更新することができます。Web 管理画面(4.4.51 節)からファームウェアイメージをアップロードすることにより更新を実行できます。

3.6.7. 装置再起動

Web 管理画面から装置の再起動を実行できます。また、定期的に装置を再起動する設定を行うことができます。

3.7. Web 管理画面

LAN に接続されたクライアント PC より、Web ブラウザ上から状態表示および設定変更を行うことができます。

3.7.1. メニュー構成

画面は階層メニュー構成とします。階層と内容を示します。

階層 1	階層 2	階層 3	内容
通話設定	音量設定		通話音量を設定
	ダイヤル設定		桁間タイム値を設定
	着信電話番号通知		着信電話番号通知をするかどうかを選択
	着信拒否設定	拒否ポリシー	着信拒否ポリシーの選択
		ホワイトリスト	着信許可番号リストの参照と編集
		ブラックリスト	着信拒否番号リストの参照と編集
	発信拒否設定		発信拒否ポリシーの選択
	番号プレフィックス除去設定		番号プレフィックスリストの参照と編集
	切断信号設定		切断信号を送信するかどうかを選択
通信モジュール	製品情報		通信モジュール情報表示
	自局電話番号		自局電話番号表示
	電波強度		電波強度表示
	ソフトウェア更新		通信モジュールソフトウェア更新の開始
ネットワーク	ネットワーク状態		ネットワーク状態の表示
	ネットワークインタフェース	eth0	IP アドレスの設定
	スタティックルート		スタティックルートの編集
	DNS サーバ		DNS サーバの編集
運用管理	装置基本情報	装置名称	装置識別用の名称設定
		MAC アドレス	Ether ポートの MAC アドレスの表示
		ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンの表示
		uptime	稼働時間表示
		メモリ使用量	メモリ使用量の表示
		テクニカルサポート情報	テクニカルサポート情報のダウンロード
	Web 管理画面	管理用アカウントパスワード変更	管理画面ログインパスワードの変更 (“admin”)
		ユーザアカウントパスワード変更	管理画面ログインパスワードの変更 (“user”)

		画面配色	Web 管理画面の配色変更
	設定データ	ダウンロード	設定データダウンロード
		アップロード	設定データアップロード
		初期化	工場出荷時設定へ初期化
	日付時刻	システム日時	システム日時の変更
		時刻同期	通信モジュール時刻または NTP と同期するかどうかを選択
	SYSLOG	ダウンロード	SYSLOG のダウンロード
		SYSLOG 設定	SYSLOG 記録についての設定
		転送設定	SYSLOG の転送設定
	SMS 設定	SMS 再送	SMS 再送設定
		SMS リモート制御	SMS リモート制御設定
	メール送信設定	SMTP 設定	メール送信時に接続する外部 SMTP サーバ情報の登録
		イベントメール送信設定	メールで送信するイベント種別と、メールの宛先を登録
	ファームウェア更新		ファームウェアのアップロードと更新実行
	装置再起動	装置再起動の実行	装置再起動の実行
		定期再起動設定	装置の定期再起動の設定
イベントログ	ログ設定		イベントログ記録についての設定
	フィルタ		イベント表示フィルタの設定
	ダウンロード		イベントログのダウンロード
	イベント一覧		イベント履歴の表示
SMS			SMS の送信と送受信履歴
	SMS フィルタ		SMS フィルタ条件の設定
SMS 送信予約			SMS 送信予約の一覧
	SMS 送信予約入力		SMS 送信予約の入力
		SMS 送信予約実行結果	SMS 送信予約の実行結果
電話帳	電話番号一覧		登録済み電話番号の一覧
		電話番号登録	電話番号の新規登録
		電話番号編集	登録済み電話番号の編集
		電話番号フィルタ	電話番号フィルタ条件の設定
		グループ参加	電話番号のグループ化
	グループ一覧		登録済みグループの一覧

		グループ登録	グループの新規登録
		グループ編集	登録済みグループの編集
		グループフィルタ	グループフィルタ条件の設定
	電話帳データファイル		電話帳データファイルのエクスポート
		電話帳ファイルインポート	電話帳データファイルのインポート
ログアウト			Web 画面からログアウト

3.8. SD カード

3.8.1. 用途

SD カードが挿入されている場合、次の用途に用います。

- イベントログ、SMS 送受信履歴、SYSLOG の記録
- 設定ファイルの保存
- 電話帳の保存

3.8.2. 挿抜

SD カードは本装置の稼働中に挿抜をしないものとします。

3.9. LED

LED 種別と用途を示します。

ボード	LED	用途
拡張ボード	電波状況 1~4	電波状況を 4 段階で示します。
	通話中	通話中に点灯します。
CPU ボード	1~4	電源、ハートビート、カーネルパニック等システム状態表示に利用します。

3.10. スイッチ

スイッチ種別と用途を示します。

スイッチ	用途
INIT	システム稼働中に長押しすると、シャットダウンします。
RELEASE	利用しません。
DIPSW	利用しません。

3.11. その他

次の機能を設けます。

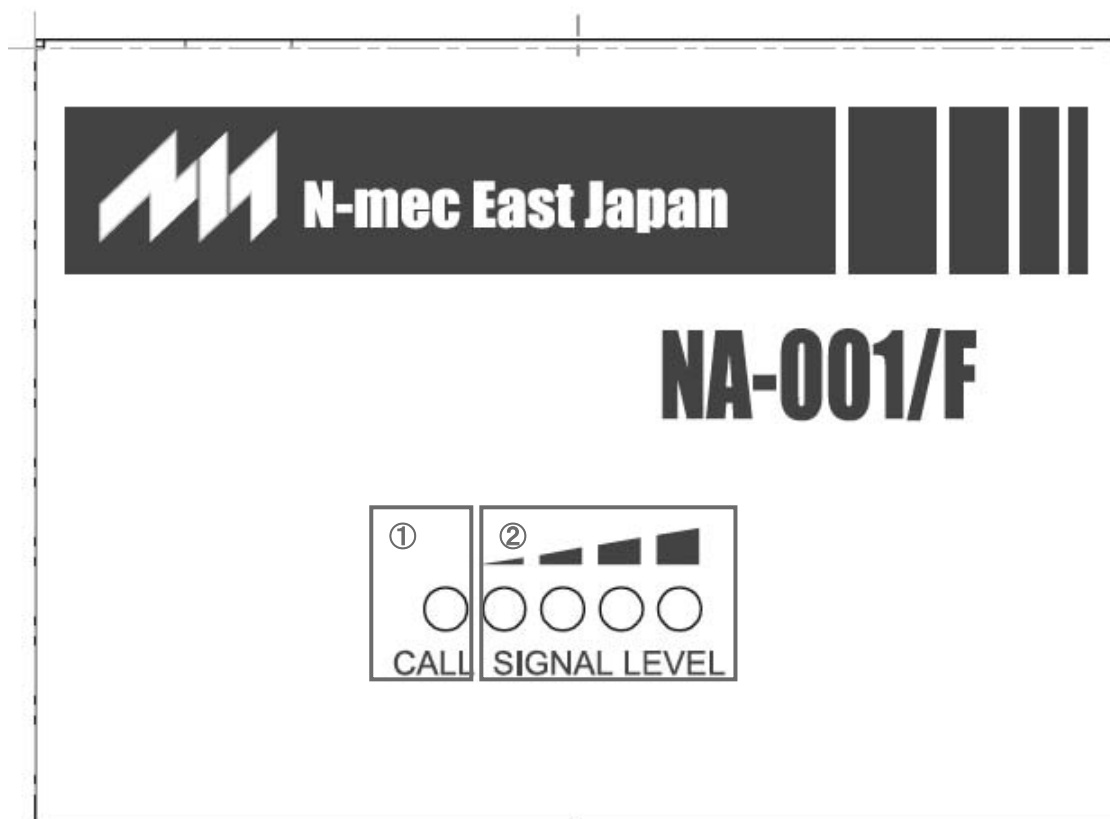
項目	内容
シリアルコンソール	システムメンテナンス用として、コンソール端子経由で Linux シェルにログインできます。
Ssh サーバ	ssh サーバを稼働します。LAN 経由で Linux シェルにログインできます。
ウォッチドッグタイマー	ソフトウェアの異常時に自動的にリセットを行います。

4. 操作仕様

4.1. 筐体各部名称

4.1.1. 筐体天面

筐体天面イメージを示します。



4 CALL LED

通話中に点灯します。

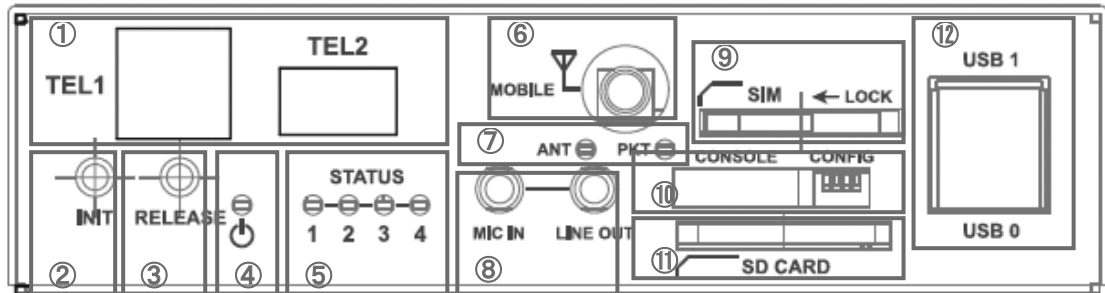
②SIGNAL LEVEL LED

電波強度を示します。

CALL LED および SIGNAL LEVEL LED は電源投入直後から 10 秒程度全点灯します。通常表示を行うまでには電源投入後から 90 秒程度かかります。

4.1.2. 筐体前面

筐体前面イメージを示します。



①TEL1/TEL2 コネクタ

2 線式アナログインタフェースです。電話機や PBX を接続します。TEL1 は RJ-11、TEL2 はスクリューレス端子です。TEL1 と TEL2 は同時に利用することはできません。

②INIT ボタン

シャットダウン(4.2.3 節)に使用します。

③RELEASE ボタン

使用しません。押しても装置動作に影響しません。

④電源 LED

電源が供給されている間は緑色に点灯します。

⑤STATUS LED

装置の稼働状態を表示します。各 LED は緑／赤の 2 色です(4.2.2 節)。

⑥アンテナ端子

FOMA 通信用の外部アンテナを接続します。

⑦ANT LED / PKT LED

使用しません。常に消灯しています。

⑧MIC IN / LINE OUT

利用できません。

⑨SIM スロット

FOMA カードを挿入します。

- FOMA カードは端子面を下、切欠きを左にして挿入してください。
- FOMA カードの挿抜は電源 OFF 時に行ってください。
- 運用時は”Lock”をスライドさせてカード脱を防止してください。

⑩CONSOLE アダプタ接続端子/CONFIG DIP スイッチ

デバッグ、メンテナンス用途で利用します。通常運用時は CONFIG DIP スイッチはすべて OFF(上側)にして利用してください。

⑪SD CARD スロット

SD カードを挿入します。

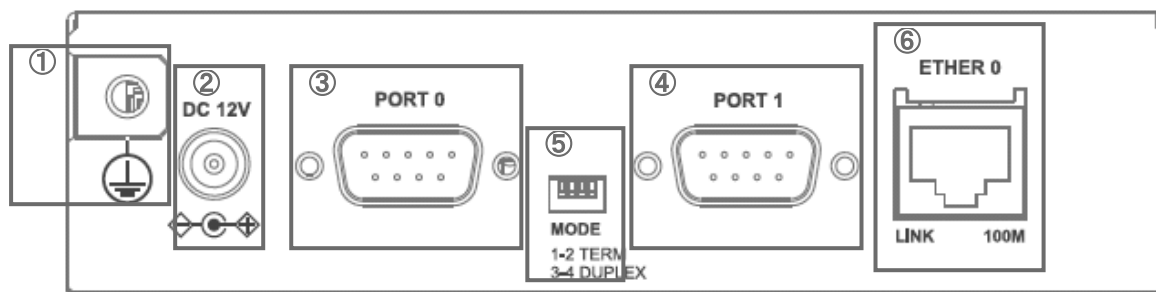
- SD カードは製品添付のものを使用してください。
- SD カードは端子面を上、切欠きを左にして挿入してください。
- SD カードの挿抜は電源 OFF 時に行ってください。

⑫USB 接続端子

USB デバイスの接続用端子です。2 ポートあります。本製品では利用しません。

4.1.3. 筐体背面

筐体背面イメージを示します。



①アース端子

アース接続用の端子です。

②ACアダプタ接続端子

ACアダプタ接続用の端子です。製品添付のものを使用してください。

③RS232C PORT0 接続端子

RS232C 接続端子です。本製品では使用しません。

④RS232C PORT1 接続端子

RS232C 接続端子です。本製品では使用しません。

⑤MODE DIP スイッチ

本製品では使用しません。すべて OFF(上側)にして利用してください。

⑥Ethernet 接続端子

Ethernet 用の RJ-45 端子です。LAN に接続してください。

4.2. 装置の起動と停止

4.2.1. 起動の前に

装置の電源を投入する前に、アンテナ、電話端末、FOMA カード、SD カード、Ethernet ケーブルを接続してください。

電話端末

「ナンバー・ディスプレイ」対応端末の場合は、機能を有効にしてください。

FOMA カード

FOMA カードは PIN ロックがされていない状態で利用してください。

SD カード

製品添付のものを使用してください。

ネットワーク

本装置の出荷時の IP アドレス設定は次の通りです。

IP アドレス	192.168.254.254
ネットマスク	255.255.255.0

Web 管理画面操作に使用するパソコンの IP アドレスを上記アドレスと同じサブネットに属するよう変更してください。

Web 管理画面経由で本装置の IP アドレスを変更(4.4.25 節)できます。設置拠点の LAN に合わせて設定してください。

4.2.2. 起動

本装置と AC アダプタ、AC アダプタとコンセントを接続し電源を投入してください。電源投入から発着信可能となるまで 90 秒程度かかります。この間の LED 表示の遷移を「表 1 起動時の LED 表示遷移」に示します。

表 1 起動時の LED 表示遷移

電源投入 経過(秒)	電 源	筐体前面 STATUS				筐体天面 LED	
		1	2	3	4	CALL	SIGNAL LEVEL
～1	緑	緑/赤全点灯				点灯	全点灯
～10	緑	緑	消灯			点灯	全点灯
～90 前後	緑	通常表示				消灯	消灯
～	緑					通常表示	

発着信可能となった後は、受話器を上げるとダイヤルトーンが聞こえます。また、SIGNAL LEVEL に電波強度を表示します。

STATUS LED 通常表示

起動完了後の STATUS LED 表示は次のようになります。

表 2 STATUS LED 通常表示

STATUS LED	状態
1	消灯
2	消灯
3	SD カードアクセス時に赤点滅
4	常時緑点灯。赤はハートビートパターンで点滅。

CALL LED 通常表示

待ち受け中は消灯、通話中に点灯します。

SIGNAL LEVEL 通常表示

通信モジュールの電波強度を示します。

4.2.3. 停止

電源を切る場合は、シャットダウン操作を行ってください。シャットダウン操作を行わずに AC アダプタを取り外した場合、SD カードや装置内部 FLASH メモリ上のデータを破損する恐れがあります。

シャットダウン操作

INIT ボタンを押し続けてください。STATUS LED の 3 が緑と赤の交互点滅を開始したら、ボタンから手を放してください。

シャットダウンには 10～20 秒程度かかります。この間、STATUS LED3 は緑と赤の交互点滅を続けます。

STATUS LED3 が消灯、STATUS LED4 が緑点灯となりハートビートパターンが止まるとシャットダウン完了です。AC アダプタを取り外すことができます。

4.3. 電話操作

ここでは、TEL1 端子に家庭用アナログ電話機をつないだ場合を説明します。

4.3.1. 発信

受話器を上げ、ダイヤルトーンが聞こえることを確認してからダイヤルしてください。ダイヤル桁間タイマ満了後に発信します。

ダイヤルトーン	400Hz の連続音
---------	------------

出荷時のダイヤル桁間タイマの設定値は 4 秒です。Web 管理画面(4.4.7 節)でタイマ値を変更できます。Web 管理画面において、ダイヤル桁間タイマを「なし」とした場合は、番号入力後に「#」を押してください。

発信に成功すると呼出音が鳴り、相手が応答すると通話可能です。発信に失敗した場合、着信拒否された場合、相手から切断された場合はビジートーンを送出します。

ビジートーン	400Hz 500msec ごとに ON/OFF
--------	--------------------------

発信失敗時は、イベントログに要因を記録します。Web 管理画面のイベントログ画面を確認してください。

4.3.2. 着信

着信すると呼出信号を送出します。電話機のベルが鳴ったらオフフックして応答してください。

呼出信号	呼出信号 1 秒鳴動、2 秒無音の繰り返し
------	-----------------------

着信電話番号の通知をする設定かつ、「ナンバー・ディスプレイ」に対応していない電話機を利用している場合は、情報端末起動信号のパターンでベルが鳴ります。

情報端末起動信号	呼出信号 500msec 鳴動、500msec 無音の繰り返し
----------	---------------------------------

この間オフフックしてしまった場合は、すぐにオンフックしてください。しばらくして上記呼出信号のパターンでベルが鳴ったらオフフックして応答できます。「ナンバー・ディスプレイ」に対応していない電話機を利用している場合は、Web 管理画面において、着信電話番号通知機能を無効にしてください。

「ナンバー・ディスプレイ」に対応している電話機では情報端末起動信号のパターンでベルは鳴らず、着信電話番号が表示されます。

4.3.3. オンフック

終話の際には、オンフック状態を 0.3 秒以上続けてください。0.3 秒に満たない場合は、瞬断とみなします。

キャッチホン着信後の終話の際には、オンフック状態を 2.2 秒以上続けてください。2.2 秒に満たない場合は、フッキング信号とみなします。

フッキング信号はキャッチ操作に使用します。

4.3.4. 通話音量の変更

通話中の受話および送話音量は、Web 管理画面(4.4.6 節)で変更できます。

4.4. Web 管理画面

4.4.1. Web 管理画面への接続

Web 管理画面へはパソコンの Web ブラウザから次の URL へアクセスしてください。URL 内の IP アドレスは出荷時のものです。IP アドレス変更後はアドレス部分を置き換えてください。

<http://192.168.254.254/>

Web ブラウザは JavaScript を有効にして利用してください。

4.4.2. 画面構成

Web 管理画面を「図 3 Web 管理画面」に示します。



図 3 Web 管理画面

① ログ表示領域

ロゴを表示する領域です。ロゴをクリックすると SMS 画面(4.4.60 節)へ移動します。

② サイドメニュー

各項目へ移動するメニューです。

③ 画面タイトル

画面のタイトルです。タイトル領域をクリックすると、画面内容を再読み込みします。

④ 画面内容

各画面内容の表示領域です。

⑤ メニュー仕切り

ドラッグして移動できます。中央の色の違う部分をクリックすると、サイドメニューの開閉をします。

4.4.3. ログイン画面

設定画面 URL へアクセスした際の初期画面です。各画面へのアクセスには認証を必要とします。

4.4.3.1. 画面イメージ

装置名称

装置を識別するための文字列です。装置名称画面(4.4.31 節)で変更可能です。

アカウント、パスワード

利用できるアカウントは次の通りです。

アカウント	出荷時パスワード	備考
admin	admin	管理用アカウント Web 管理画面のすべての機能を利用できます。
User	user	ユーザアカウント SMS、電話帳関連の機能のみ利用できます。

パスワードは管理用アカウントパスワード変更画面(4.4.33 節)およびユーザアカウントパスワード変更画面(4.4.34 節)で変更可能です。

サイドメニュー領域

ログイン前は、サイドメニュー領域にメニューを表示しません。ログイン後にアカウントの権限に応じてサイドメニュー(4.4.4 節)を表示します。

ログインボタン

ログインします。

4.4.4. サイドメニュー

ログイン後に表示するサイドメニューについて説明します。

4.4.4.1. 画面イメージ



ユーザアカウントログイン時のメニュー

管理用アカウントログイン時のメニュー

状態表示用領域

状態表示用領域には次の項目を表示します。

項目	説明
装置名称	装置名称を表示します。装置名称は装置名称画面(4.4.31 節)で変更できません。
電波強度	通信モジュールが検出している電波強度を示します。表示は天面 LED を模した画像で行います。 表示は 10～20 秒間隔で自動更新します。
通話	「通話中」、「待ち受け中」のいずれかを表示します。 表示は 10～20 秒間隔で自動更新します。

SMS

クリックすると SMS 画面(4.4.60 節)へ移動します。メニュー内にはつぎの項目を表示します。いずれも 10～20 秒間隔で自動更新します。

項目	説明
未読	未読メッセージ数を表示します。
日付、当日送受信数	当日日付と、当日の送信数、受信数を表示します。
送信待ち	送信キューに積まれていて、まだ送信していないメッセージ数を表示します。

未読数が 1 件以上ある場合は、メニューを強調色表示します。

SMS 送信予約

クリックすると SMS 送信予約画面(4.4.75 節)へ移動します。実行待ち、実行中、実行済みの各予約数を表示します。実行待ちが 1 つ以上ある場合は、強調表示となります。

電話帳

電話帳画面(4.4.62 節)へ移動します。

通話設定

通話設定画面(4.4.5 節)へ移動します。このメニューは管理用アカウントでログインしたときのみ表示します。

通信モジュール

通信モジュール画面(4.4.20 節)へ移動します。このメニューは管理用アカウントでログインしたときのみ表示します。

ネットワーク

ネットワーク設定画面(4.4.22 節)へ移動します。このメニューは管理用アカウントでログインしたときのみ表示します。

運用管理

運用管理画面(4.4.29 節)へ移動します。このメニューは管理用アカウントでログインしたときのみ表示します。

イベントログ

イベントログ画面(4.4.56 節)へ移動します。このメニューは管理用アカウントでログインしたときのみ表示します。

ログアウト

Web 管理画面よりログアウトし、ログイン画面(4.4.3 節)へ移動します。

4.4.5. 通話設定

通話設定関連のメニュー画面です。

4.4.5.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」

4.4.5.2. 画面イメージ



音量設定

音量設定画面(4.4.6 節)へ移動します。

ダイヤル設定

ダイヤル設定画面(4.4.7 節)へ移動します。

着信電話番号通知設定

着信電話番号通知設定画面(4.4.8 節)へ移動します。

着信拒否設定

着信拒否設定画面(4.4.9 節)へ移動します。

発信拒否設定

発信拒否設定画面(4.4.15 節)へ移動します。

番号プレフィックス除去設定

番号プレフィックス除去設定画面(4.4.16 節)へ移動します。

切断信号設定

切断信号設定画面(4.4.19 節)へ移動します。

4.4.6. 音量設定

受話音量を設定します。

4.4.6.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「音量設定」

4.4.6.2. 画面イメージ

音量設定

受話音量

0 (消音)

1 (小)

2

3

4

5 (大)

送話音量

0 (消音)

1 (小)

2

3

4

5 (大)

OK

受話音量ラジオボタン

受話音量を選択します。1 が最小、5 が最大です。0 は消音です。

送話音量ラジオボタン

送話音量を選択します。1 が最小、5 が最大です。0 は消音です。

OK ボタン

選択した音量を設定します。

4.4.7. ダイアル設定

ダイアル桁間タイマの設定を行います。

4.4.7.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「ダイアル設定」

4.4.7.2. 画面イメージ

ダイアル設定

ダイアル桁間タイマ

タイムアウト値: 4秒

発信制限

電波強度が弱い場合は発信しない。

DTMF ATコマンド

通話中にTEL端子から受信したDTMF音を、ATコマンドに変換して送信する。

OK

ダイアル桁間タイマ

ダイアル桁間タイマタイムアウト値を選択します。

発信制限

「電波強度が弱い場合に発信しない」のチェックを外すと、電波強度が弱くても発信を試みます。

DTMF AT コマンド

通話中に TEL 端子から受信した DTMF 音を AT コマンドに変換するかどうかを選択します。音声ガイドンスに従って DTMF 音でメニュー操作する際の設定です。(3.1.8 節)。

OK ボタン

選択したタイムアウト値を設定します。

4.4.8. 着信電話番号通知設定

着信電話番号通知の設定を行います。

4.4.8.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信電話番号通知設定」

4.4.8.2. 画面イメージ



ラジオボタン

着信電話番号を通知するかどうかを選択します。「ナンバー・ディスプレイ」に対応していない端末を接続する場合は、「通知しない」を選択してください。

OK ボタン

選択した内容を設定します。

4.4.9. 着信拒否設定

着信拒否関連の設定メニュー画面です。

4.4.9.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」

4.4.9.2. 画面イメージ



拒否ポリシー

着信拒否ポリシー画面(4.4.10 節)へ移動します。

ホワイトリスト

着信ホワイトリスト画面(4.4.11 節)へ移動します。

ブラックリスト

着信ブラックリスト画面(4.4.13 節)へ移動します。

4.4.10. 着信拒否ポリシー

着信拒否を行うかどうか、および拒否対象の指定について設定します。

4.4.10.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」→「拒否ポリシー」

4.4.10.2. 画面イメージ

着信拒否ポリシー

拒否設定

- すべての着信を拒否
- ブラックリストに載っている番号を拒否
- ホワイトリストに載っている番号以外を拒否
- 電話帳に登録されていない番号を拒否
- 指定グループに属さない番号を拒否
- 指定グループに属している番号を拒否
- 着信拒否しない

グループ指定

❶ 上記拒否設定でグループを利用する場合、ここでグループを選択してください。

グループ:

OK

拒否設定

着信拒否方針を次から選択します。

- すべての着信を拒否
- ブラックリストに載っている番号を拒否
- ホワイトリストに載っている番号以外を拒否
- 電話帳に登録されていない番号を拒否
- 指定グループに属さない番号を拒否
- 指定グループに属している番号を拒否
- 着信拒否しない

グループ指定

拒否設定において「指定グループに属さない番号を拒否」または、「指定グループに属さない番号を拒否」を選択する場合、ここでグループを選択してください。

OK ボタン

選択内容を設定します。

4.4.11. 着信ホワイトリスト

着信許可番号の一覧を表示します。

4.4.11.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」→「ホワイトリスト」

4.4.11.2. 画面イメージ



追加

着信許可番号画面(4.4.12 節)へ移動します。

件数

登録済み番号の件数を表示します。

登録済み番号レコード

着信許可番号画面(4.4.12 節)へ移動します。

4.4.12. 着信許可番号

着信許可番号の追加／削除を行います。

4.4.12.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」→「ホワイトリスト」→「追加」または登録済みレコード

4.4.12.2. 画面イメージ

着信許可電話番号

新規追加の場合、入力欄を表示します。着信を許可する番号を入力して登録ボタンを押してください。

登録済みレコードの場合、登録済み番号を表示します。この番号を削除したい場合は削除ボタンを押してください。

登録ボタン

新規追加の場合に表示します。入力番号を登録します。

削除ボタン

登録済みレコードの場合に表示します。表示番号を削除します。

4.4.13. 着信ブラックリスト

着信拒否番号の一覧を表示します。

4.4.13.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」→「ブラックリスト」

4.4.13.2. 画面イメージ



追加

着信拒否番号画面(4.4.14 節)へ移動します。

件数

登録済み番号の件数を表示します。

登録済み番号レコード

着信拒否番号画面(4.4.14 節)へ移動します。

4.4.14. 着信拒否番号

着信拒否番号の追加／削除を行います。

4.4.14.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「着信拒否設定」→「ブラックリスト」→「追加」または登録済みレコード

4.4.14.2. 画面イメージ

着信拒否番号

着信拒否電話番号:

登録

着信拒否電話番号

新規追加の場合、入力欄を表示します。着信を拒否する番号を入力して登録ボタンを押してください。

登録済みレコードの場合、登録済み番号を表示します。この番号を削除したい場合は削除ボタンを押してください。

登録ボタン

新規追加の場合に表示します。入力番号を登録します。

削除ボタン

着信拒否番号

着信拒否電話番号: 08011111111

削除

登録済みレコードの場合に表示します。表示番号を削除します。

4.4.15. 発信拒否設定

発信拒否を行うかどうか、および拒否対象の指定について設定します。

4.4.15.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「発信拒否設定」

4.4.15.2. 画面イメージ

発信拒否設定

拒否設定

- すべての発信を拒否
- 電話帳に登録されていない番号への発信を拒否
- 指定グループに属さない番号への発信を拒否
- 指定グループに属している番号への発信を拒否
- 発信拒否しない

グループ指定

❗ 上記拒否設定でグループを利用する場合、ここでグループを選択してください。

グループ:

❗ OK

拒否設定

発信拒否方針を次から選択します。

- すべての発信を拒否
- 電話帳に登録されていない番号への発信を拒否
- 指定グループに属さない番号への発信を拒否
- 指定グループに属している番号への発信を拒否
- 発信拒否しない

グループ指定

拒否設定において「指定グループに属さない番号を拒否」または、「指定グループに属さない番号を拒否」を選択する場合、ここでグループを選択してください。

OK ボタン

選択内容を設定します。

4.4.16. 番号プレフィックス除去設定

番号プレフィックス一覧と、除去設定メニュー画面です。

4.4.16.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「番号プレフィックス除去設定」

4.4.16.2. 画面イメージ

番号プレフィックス除去設定	
番号プレフィックス除去機能	▶
無効	
追加	▶
新しい番号プレフィックスを追加します。	
件数: 2 / 16	
0033	▶
0031	▶

番号プレフィックス除去機能

番号プレフィックス除去機能が有効か無効かを表示します。クリックすると、番号プレフィックス除去機能画面(4.4.17 節)へ移動します。

追加

番号プレフィックス編集画面(4.4.18 節)へ移動します。

件数

登録済み番号プレフィックスの件数を表示します。

登録済み番号プレフィックスレコード

番号プレフィックス編集画面(4.4.18 節)へ移動します。

4.4.17. 番号プレフィックス除去機能

番号プレフィックス除去機能画面です。

4.4.17.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「番号プレフィックス除去設定」→「番号プレフィックス除去機能」

4.4.17.2. 画面イメージ



番号プレフィックスを除去する

チェックすると、番号プレフィックス除去機能を有効化します。

OK ボタン

入力内容を送信します。

4.4.18. 番号プレフィックス編集

番号プレフィックスの編集画面です。

4.4.18.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「番号プレフィックス除去設定」→「追加」または登録済みレコード

4.4.18.2. 画面イメージ

プレフィックス

新規追加の場合、入力欄を表示します。登録したい番号プレフィックスを入力して登録ボタンを押してください。

登録済みレコードの場合、登録済み番号プレフィックスを表示します。このプレフィックスを削除したい場合は削除ボタンを押してください。

登録ボタン

新規追加の場合に表示します。入力番号を登録します。

削除ボタン

登録済みレコードの場合に表示します。表示しているプレフィックスを削除します。

4.4.19. 切断信号設定

切断信号の設定を行います。

4.4.19.1. 階層位置

サイドメニュー→「通話設定」→「切断信号設定」

4.4.19.2. 画面イメージ

切断信号設定

電話機に対して切断信号を送信するかどうか選択してください。

送信しない

送信する

▶ OK

送信しない

電話機に対して切断信号を送信しない場合に選択します。

送信する

電話機に対して切断信号を送信する場合に選択します。

OK ボタン

入力内容を送信します。

4.4.20. 通信モジュール

通信モジュール状態表示および設定メニュー画面です。

4.4.20.1. 階層位置

サイドメニュー→「通信モジュール」

4.4.20.2. 画面イメージ



製品情報

通信モジュールの製造メーカ、製造型番、ファームウェアバージョン、IMEI を表示します。

自局電話番号

FOMA カードに付番されている電話番号を表示します。

“SIM failure”と表示されている場合は、FOMA カードが挿入されていないか、読み取りに失敗しています。電源を切って FOMA カードを挿入してください。

電波強度

電波強度を 0 から 5 の 6 段階で示します。強度は 0 が最弱、5 が最強です。値は 10～20 秒間隔で自動更新します。

ソフトウェア更新

通信モジュールソフトウェア更新画面(4.4.21 節)へ移動します。

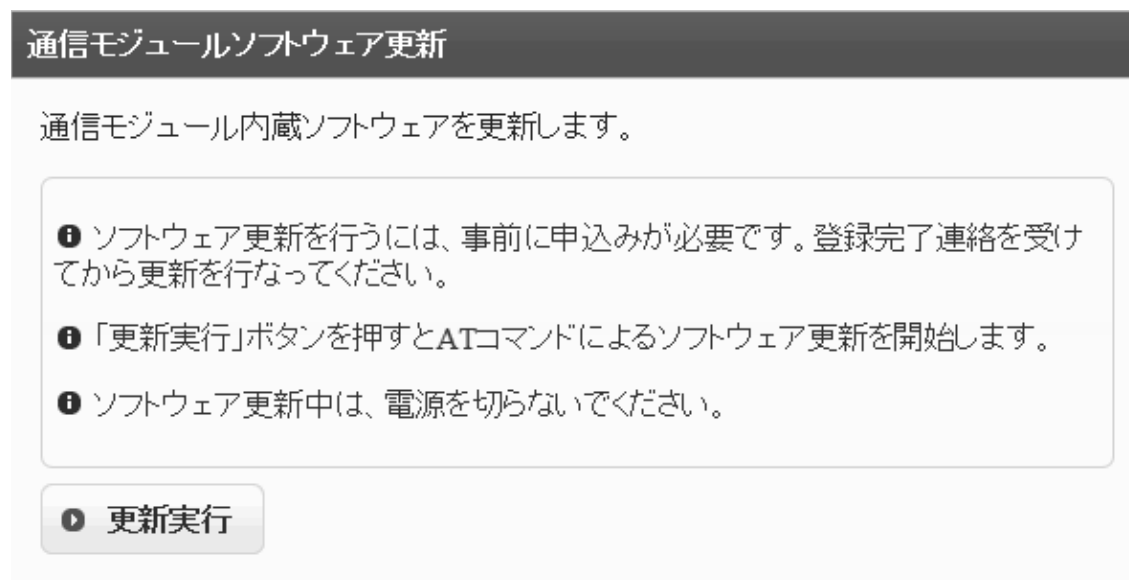
4.4.21. 通信モジュールソフトウェア更新

通信モジュール内蔵ソフトウェアの更新実行画面です。

4.4.21.1. 階層位置

サイドメニュー→「通信モジュール」→「ソフトウェア更新」

4.4.21.2. 画面イメージ



更新実行ボタン

更新実行ボタンを押すと、AT コマンドによるソフトウェア更新を開始します。

通信モジュールのソフトウェア更新は、事前に申し込みが必要です。申し込みをせずに「更新実行」を押さないようにしてください。

4.4.22. ネットワーク

IP ネットワーク機能関連のメニュー画面です。

4.4.22.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」

4.4.22.2. 画面イメージ

ネットワーク	
ネットワーク状態	▶
ネットワーク設定状況を表示します。	
ネットワークインタフェース設定	▶
ネットワークインタフェースの設定を行います。	
スタティックルート設定	▶
スタティックルート設定を行います。	
DNSサーバ設定	▶
DNSサーバの設定を行います。	

ネットワーク状態

ネットワーク状態画面(4.4.23 節)へ移動します。

ネットワークインタフェース設定

ネットワークインタフェース設定画面(4.4.24 節)へ移動します。

スタティックルート設定

スタティックルート設定画面(4.4.26 節)へ移動します。

DNSサーバ設定

DNSサーバ設定画面(4.4.28 節)へ移動します。

4.4.23. ネットワーク状態

ネットワークの設定状況を表示します。

4.4.23.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「ネットワーク状態」

4.4.23.2. 画面イメージ

```
ネットワーク状態

eth0
<BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc pfifo_fast state UP qlen 1000
link/ether 00:80:6d:77:81:01 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
inet 192.168.222.88/24 scope global eth0
inet6 fe80::280:6dff:fe77:8101/64 scope link
valid_lft forever preferred_lft forever

ルーティング
default via 192.168.222.1 dev eth0
192.168.222.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 192.168.222.88
192.168.245.0/24 via 192.168.222.4 dev eth0

DNSサーバ
8.8.8.8
```

eth0

イーサネットインタフェースの設定状況を表示します。

ルーティング

ルーティング情報を表示します。

DNSサーバ

利用する DNS サーバアドレスを表示します。

4.4.24. ネットワークインタフェース設定

ネットワークインタフェースのメニュー画面です。本装置では設定できるネットワークインタフェースは”eth0”(Ether0 ポート)のみです。

4.4.24.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「ネットワークインタフェース設定」

4.4.24.2. 画面イメージ



eth0

Ether0 ポートのネットワークインタフェース編集画面(4.4.25 節)へ移動します。

4.4.25. ネットワークインタフェース編集

ネットワークインタフェースに対する設定を行います。

4.4.25.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「ネットワークインタフェース設定」→「eth0」

4.4.25.2. 画面イメージ

ネットワークインタフェース編集

インタフェース

インタフェース: eth0

IPv4

DHCPサーバより設定取得

IPアドレス: 192.168.222.88

ネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 192.168.222.1

ⓘ OKを押すと、IPアドレスの変更は直ちに反映されます。変更の反映後にWeb設定画面を利用する場合は、変更後のアドレスへアクセスしてください。

ⓘ OK

インタフェース

設定しようとしているインタフェース名を表示します。

DHCPサーバより設定取得

DHCPサーバより設定を取得します。この場合、IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイの各欄の値は使用しません。

IPアドレス

Ipv4アドレスを入力してください。

ネットマスク

ネットマスクを入力してください。

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイアドレスを入力してください

OK ボタン

設定を反映させます。IP アドレスを変更する場合、以後の Web 管理画面操作は変更後の IP アドレスにアクセスして行なってください。

4.4.26. スタティックルート設定

スタティックルートの一覧を表示します。

4.4.26.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「スタティックルート設定」

4.4.26.2. 画面イメージ



追加

スタティックルート編集画面(4.4.27 節)へ移動します。新規にスタティックルートを追加する場合にクリックしてください。

一覧

登録されているスタティックルートの一覧を表示します。レコードをクリックするとスタティックルート編集画面(4.4.27 節)へ移動します。

4.4.27. スタティックルート編集

スタティックルートの追加／編集／削除を行います。

4.4.27.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「スタティックルート設定」→「追加」または登録済みレコード

4.4.27.2. 画面イメージ

The screenshot shows a web interface titled "スタティックルート編集" (Static Route Edit). It contains three input fields: "宛先:" (Destination), "インタフェース:" (Interface), and "ゲートウェイ:" (Gateway). Below these fields is a button labeled "登録" (Register).

宛先

新規追加の場合は、宛先入力欄を表示します。宛先を入力してください。

インタフェース

送信インタフェースを入力してください。なお、本装置においては、"eth0"を入力してください。

ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを入力してください。

登録ボタン

入力内容を設定します。

削除ボタン

The screenshot shows the same "スタティックルート編集" (Static Route Edit) interface, but with the input fields filled. The "宛先:" field contains "192.168.245.0/24", the "インタフェース:" field contains "eth0", and the "ゲートウェイ:" field contains "192.168.222.4". Below the fields are two buttons: "登録" (Register) and "削除" (Delete).

登録済みレコードの場合、削除ボタンを表示します。このレコードを削除する場合に押してください。

4.4.28. DNS サーバ設定

DNS サーバアドレスの設定を行います。

4.4.28.1. 階層位置

サイドメニュー→「ネットワーク」→「DNS サーバ設定」

4.4.28.2. 画面イメージ



The screenshot shows a dialog box titled "DNSサーバ設定". It contains two input fields. The first field, labeled "DNSサーバ1:", has the value "8.8.8.8" entered. The second field, labeled "DNSサーバ2:", is empty. Below the input fields is an "OK" button with a circular icon to its left.

DNS サーバ 1

DNS サーバアドレスを入力してください。

DNS サーバ 2

DNS サーバアドレスを入力してください。

OK ボタン

入力内容を設定します。

4.4.29. 運用管理

運用管理関連のメニュー画面です。

4.4.29.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」

4.4.29.2. 画面イメージ

運用管理	
装置基本情報	▶
本装置の基本情報を表示します。	
Web管理画面	▶
Web管理画面の設定を行います。	
設定データ	▶
本装置設定データの入出力および初期化を行います。	
日付時刻	▶
本装置の日付時刻設定を行います。	
SYSLOG	▶
SYSLOGのダウンロードおよび設定を行います。	
SMS設定	▶
SMS関連の設定を行います。	
メール送信設定	▶
電子メール送信設定を行います。	
ファームウェア更新	▶
本装置のファームウェア更新を行います。	
装置再起動	▶
本装置の再起動実行および、再起動についての設定を行います。	

装置基本情報

装置基本情報画面(4.4.30 節)へ移動します。

Web 管理画面

Web 管理画面についての設定画面(4.4.32 節)へ移動します。

設定データ

設定データ画面(4.4.36 節)へ移動します。

日付時刻

装置日付時刻画面(4.4.39 節)へ移動します。

SYSLOG

SYSLOG 画面(4.4.42 節)へ移動します。

SMS 設定

SMS 設定画面(4.4.45 節)へ移動します。

メール送信設定

SMS 送信設定画面(4.4.48 節)へ移動します。

ファームウェア更新

装置ファームウェア更新画面(4.4.51 節)へ移動します。

装置再起動

装置再起動画面(4.4.53 節)へ移動します。

4.4.30. 装置基本情報

本装置の情報を表示します。

4.4.30.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置基本情報」

4.4.30.2. 画面イメージ

装置基本情報	
装置名称	穴戸ビル8F ▶
MACアドレス	00:80:6d:77:81:01
ファームウェアバージョン	NA-001/F firmware version 1.1.0.beta1 (Wed, 11 Jan 2012 14:23:16 +0900)
uptime	2:12:57
メモリ使用量	32%
テクニカルサポート情報	テクニカルサポート情報をダウンロードします。 ⬇

装置名称

装置名称を表示します。クリックすると装置名称画面(4.4.31 節)へ移動します。

MACアドレス

Ether0 ポートの MAC アドレスを表示します。

ファームウェアバージョン

本装置のファームウェアバージョンを表示します。

Uptime

本装置が起動してからの経過時間を表示します。値は 10～20 秒間隔で自動更新します。

メモリ使用量

本装置搭載メモリ容量に対する現在の使用比率を表示します。値は 10～20 秒間隔で自動更新します。

テクニカルサポート情報

テクニカルサポート情報ファイル(5.4 節)をダウンロードします。

4.4.31. 装置名称

本装置の名称を表示します。

4.4.31.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置基本情報」→「装置名称」

4.4.31.2. 画面イメージ

装置名称

装置名称: 六戸ビル8F

ホスト名

❶ 使用できる文字は、半角英数字およびハイフンです。ハイフンは先頭と末尾には使用できません。

❷ ホスト名を自動生成する場合は入力不要です。

ホスト名:

OK

装置名称

装置名称を、32文字以内で入力してください。

この文字列はログイン画面(4.4.3節)とサイドメニュー(4.4.4節)に表示します。

ホスト名

ホスト名を2文字以上63文字以内で入力してください。使用できる文字は、半角英数字およびハイフンです。ハイフンは先頭と末尾には使用できません。ホスト名は、SSH シェルプロンプトや syslog 各レコードに表示されます。

ホスト名は自動生成することもできます。自動生成する場合は、ホスト名入力欄を空にしてください。自動生成される文字列は”NA001F-(MAC アドレス)”となります。

OK ボタン

入力した内容を設定します。

4.4.32. Web 管理画面

Web 管理画面関連の設定メニューを表示します。

4.4.32.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「Web 管理画面」

4.4.32.2. 画面イメージ



管理用アカウントパスワード変更

管理用アカウントパスワード変更画面(4.4.33 節)へ移動します。

ユーザアカウントパスワード変更

ユーザアカウントパスワード変更画面(4.4.34 節)へ移動します。

画面配色

画面配色画面(4.4.35 節)へ移動します。

4.4.33. 管理用アカウントパスワード変更

管理用アカウント”admin”のログインパスワードを変更します。

4.4.33.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「Web 管理画面」→「管理用アカウントパスワード変更」

4.4.33.2. 画面イメージ

管理用アカウントパスワード変更

"admin"のパスワードを変更します。

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワード(確認):

OK

現在のパスワード

現在のパスワードを入力してください。

新しいパスワード

新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワード (確認)

確認用に上欄に入力した新しいパスワードと同じものを入力してください。

OK ボタン

入力した内容を設定します。設定が完了すると、ログイン画面(4.4.3 節)へ移動します。

4.4.34. ユーザアカウントパスワード変更

ユーザアカウント”user”のログインパスワードを変更します。

4.4.34.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「Web 管理画面」→「ユーザアカウントパスワード変更」

4.4.34.2. 画面イメージ

ユーザアカウントパスワード変更

"user"のパスワードを変更します。

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワード(確認):

OK

現在のパスワード

現在のパスワードを入力してください。

新しいパスワード

新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワード (確認)

確認用に上欄に入力した新しいパスワードと同じものを入力してください。

OK ボタン

入力した内容を設定します。

4.4.35. 画面配色

Web 管理画面の配色を変更します。

4.4.35.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「Web 管理画面」→「画面配色」

4.4.35.2. 画面イメージ

画面配色

1

2

3

4

i 設定変更後にページを読み直します。再度ログインしてください。

配色選択ラジオボタン

ラジオボタンの右側に配色番号と対応する色見本を表示します。各色見本は 4 つのセルからなり、左から背景色、メニュー色、メニュー-hover 色、タイトル色となります。

色見本項目	説明
背景色	Web ページの背景色です。
メニュー色	メニューやボタンの下地の色です。
メニュー-hover 色	メニューやボタンにマウスカーソルを乗せた際の下地の色です。
タイトル色	画面タイトル表示領域の下地の色です。

OK ボタン

入力内容を送信します。配色を反映させるためにページを読み直します。ログイン画面へ戻るので、設定を続ける場合は再度ログインしてください。

4.4.36. 設定データ

本装置の設定データの管理を行います。

4.4.36.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「設定データ」

4.4.36.2. 画面イメージ



設定データダウンロード

設定データファイル(5.1 節)をダウンロードします。

設定データアップロード

設定データファイルアップロード画面(4.4.37 節)へ移動します。

設定データの初期化

設定データ初期化画面(4.4.38 節)へ移動します。

4.4.37. 設定データファイルアップロード

設定データファイルをアップロードします。

4.4.37.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「設定データ」→「設定データアップロード」

4.4.37.2. 画面イメージ

設定データファイルアップロード

本装置へ設定データファイルをアップロードし、設定を更新します。

i 設定データファイルのアップロード後、本装置は再起動します。

設定データファイルを選択して「送信」を押してください。

ファイル選択:

ファイル選択

本装置用の設定データファイル(5.1 節)を選択してください。

送信ボタン

送信ボタンを押すと指定ファイルをアップロードします。ファイル内容に誤りがなければ、設定の反映と再起動を行います。

再起動完了までに約 2 分かかります。

4.4.38. 設定データ初期化

設定データの初期化を行います。

4.4.38.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「設定データ」→「設定データの初期化」

4.4.38.2. 画面イメージ



初期化ボタン

初期化ボタンを押すと、SD カードを初期化し再起動します。

以下の内容が消去されます。

- イベントログ
- SMS 送受信履歴
- SYSLOG
- 電話帳

本装置の設定データは出荷時設定(5.1.3 節)に変更されます。

4.4.39. 装置日付時刻

本装置内蔵時計についての設定を行います。

4.4.39.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置日付時刻」

4.4.39.2. 画面イメージ



システム日時

現在日時を表示します。クリックするとシステム日時画面(4.4.40 節)へ移動します。

表示している日時は自動更新します。

時刻同期

時刻同期画面(4.4.41 節)へ移動します。

4.4.40. システム日時

システム日時を変更します。

4.4.40.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置日付時刻」→「システム日時」

4.4.40.2. 画面イメージ

システム日時

本装置内蔵時計の日付時刻を変更します。

❶ 日付はYYYY/MM/DDの形式で入力してください。

日付: 2012/01/11

❶ 時刻はHH:MMの形式で、24時間制で入力してください。

時刻: 16:46

OK

日付

現在日付が表示されます。変更したい日付を入力してください。入力する文字列は、「YYYY/MM/DD」(西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁)です。

時刻

現在時刻が表示されます。変更したい時刻を入力してください。入力する文字列は、「HH:MM」(時 2 桁/分 2 桁)です。「HH」は 24 時間制(00 から 23)で指定してください。

OK ボタン

入力された内容を設定します。

4.4.41. 時刻同期

時刻同期設定を行います。

4.4.41.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置日付時刻」→「時刻同期」

4.4.41.2. 画面イメージ

時刻同期機能

- 同期しない
- 通信モジュール内蔵時計と同期する
- 外部NTPサーバと同期する

NTP

外部NTPサーバ:

OK

時刻同期機能

時刻同期方法を次から選択してください。

- 同期しない
- 通信モジュール内蔵時計と同期する
- 外部 NTP サーバと同期する

NTP

外部NTPサーバと同期する場合は、そのサーバアドレスを入力してください。サーバアドレスをIPアドレスではなくFQDNで指定する場合は、DNSサーバアドレスの設定(4.4.28 節)が必要です。

OK ボタン

入力内容を設定します。

4.4.42. SYSLOG

本装置が出力する SYSLOG についての設定メニュー画面です。

4.4.42.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SYSLOG」

4.4.42.2. 画面イメージ



SYSLOG ダウンロード

本装置に保存している SYSLOG ファイル(5.3 節)をダウンロードします。

SYSLOG 設定

SYSLOG 設定画面(4.4.43)へ移動します。

SYSLOG 転送

SYSLOG 転送画面(4.4.44 節)へ移動します。

4.4.43. SYSLOG 設定

SYSLOG の設定を行います。

4.4.43.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SYSLOG」→「SYSLOG 設定」

4.4.43.2. 画面イメージ



電話番号文字列を隠す

SYSLOG に出力する AT コマンドやリザルトコードなどに含まれる電話番号および SMS データを”<hidden>”という文字列で置き換えます。

OK ボタン

入力内容を設定します。

4.4.44. SYSLOG 転送

SYSLOG の転送設定を行います。

4.4.44.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SYSLOG」→「SYSLOG 転送」

4.4.44.2. 画面イメージ

SYSLOG 転送

転送機能

利用しない
 利用する

外部SYSLOGサーバ

サーバ:

プロトコル: **TCP** ▼

ポート番号:

プライオリティ

NOTICE
 INFO
 DEBUG

▶ OK

転送機能

転送機能を利用するかどうか選択してください。

外部 SYSLOG サーバ

外部 SYSLOG サーバのアドレス、プロトコル、ポート番号を入力してください。

サーバアドレスを IP アドレスではなく FQDN で指定する場合は、DNS サーバアドレスの設定(4.4.28 節)が必要です。

プライオリティ

転送するログのプライオリティを選択してください。

OK ボタン

入力内容を設定します。

4.4.45. SMS 設定

SMS 設定に関するメニューを表示します。

4.4.45.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SMS 設定」

4.4.45.2. 画面イメージ



SMS 再送

SMS 再送設定画面(4.4.46 節)へ移動します。

SMS リモート制御

SMS リモート制御画面(4.4.47 節)へ移動します。

4.4.46. SMS 再送設定

SMS 再送設定を行います。

4.4.46.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SMS 設定」→「SMS 再送設定」

4.4.46.2. 画面イメージ

SMS再送設定

送信失敗時の再送

再送回数: 10回 ▼

▶ OK

再送回数

SMS 送信失敗時の再送を何回行うかを選択します。

OK ボタン

入力内容を送信します。

4.4.47. SMS リモート制御

SMS リモート制御設定を行います。

4.4.47.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「SMS 設定」→「SMS リモート制御」

4.4.47.2. 画面イメージ

SMSリモート制御

SMSリモート制御機能

リモートコマンドを受け付ける

電話番号

リモートコマンドの送信元を限定します。

電話番号1:

電話番号2:

電話番号3:

OK

SMS リモート制御機能

SMS リモート制御機能を利用する場合は、「リモートコマンドを受け付ける」をチェックしてください。

電話番号

SMS リモート制御機能を利用する場合は、送信元電話番号を指定してください。

OK ボタン

入力内容を設定します。

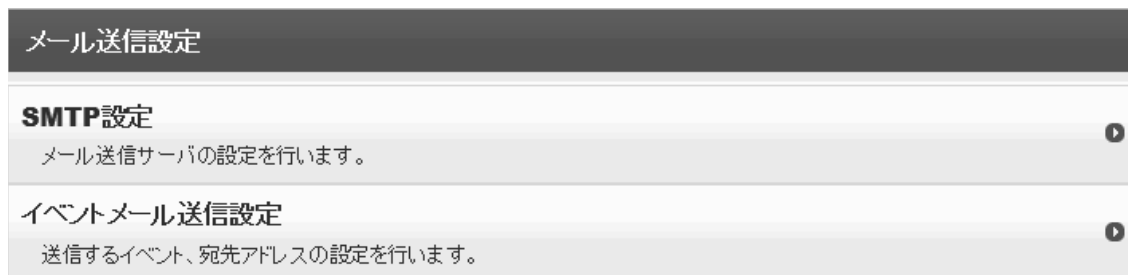
4.4.48. メール送信設定

メール送信メニューを表示します。

4.4.48.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「メール送信設定」

4.4.48.2. 画面イメージ



SMTP 設定

SMTP 設定画面(4.4.49 節)へ移動します。

イベントメール送信設定

イベントメール送信設定画面(4.4.50 節)へ移動します。

4.4.49. SMTP 設定

外部 SMTP サーバについての設定を行います。

4.4.49.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「メール送信設定」→「SMTP 設定」

4.4.49.2. 画面イメージ

メール送信機能

メール送信機能を利用する／しないを選択してください。

SMTP サーバ

外部 SMTP サーバ情報を入力してください。

SMTP サーバアドレス	外部 SMTP サーバのアドレスです。
SMTP サーバポート番号	外部 SMTP サーバのポート番号です。
接続の保護	なし／SSL／STARTTLS のいずれかを選択してください。

送信元メールアドレス

送信元メールアドレスについての情報を入力してください。

送信元メールアドレス	FROM ヘッダに設定するメールアドレスです。
送信者名	FROM ヘッダに設定する送信者名です。

認証設定

認証についての情報を入力してください。

認証方式	なし／POP before SMTP／SMTP 認証から選択してください。
ユーザ ID	認証用のユーザ ID です。認証方式に「なし」以外を指定した場合に入力してください。
パスワード	認証用のパスワードです。認証方式に「なし」以外を指定した場合に入力してください。
POP3 サーバアドレス	POP3 サーバアドレスです。認証方式に「POP before SMTP」を指定した場合に入力してください。
POP3 サーバポート番号	POP3 サーバポート番号です。認証方式に「POP before SMTP」を指定した場合に入力してください。

4.4.50. イベントメール送信設定

イベントメール送信について設定します。

4.4.50.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「メール送信設定」→「イベントメール送信設定」

4.4.50.2. 画面イメージ

イベントメール送信設定

宛先メールアドレス

アドレス1:

アドレス2:

アドレス3:

イベント種別

- 発信
- 発信失敗
- 着信
- 着信拒否
- 応答
- 切断
- 電波状態変化
- ソフトウェア更新状態通知
- SMS受信
- SMS送信
- SMS送達通知
- SMS送信予約実行
- SMS送信失敗
- 日次集計
- 起動
- 停止

OK

宛先メールアドレス

イベントメールの宛先メールアドレスを3つまで指定できます。

イベント種別

イベントメールで通知するイベント種別を選択してください。複数選択できます。

4.4.51. 装置ファームウェア更新

本装置のファームウェアを更新します。

4.4.51.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「ファームウェア更新」

4.4.51.2. 画面イメージ

装置ファームウェア更新

本装置のファームウェアを更新します。

! ファームウェアの更新処理中は、電話の発信および着信はできません。

ファームウェアイメージファイルを選択して「送信」を押してください。

ファイル選択:

!

ファイル選択

ファームウェアイメージファイルを選択してください。

送信ボタン

選択したファームウェアイメージファイルを本装置へアップロードします。アップロードが完了すると、ファームウェアアップロード完了画面(4.4.52 節)へ移動します。

4.4.52. 装置ファームウェアアップロード完了

ファームウェアイメージファイルのアップロード後の確認画面です。

4.4.52.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「ファームウェア更新」→ファイル送信

4.4.52.2. 画面イメージ

ファイルサイズ

アップロードされたファイルのサイズを表示します。本装置用のファームウェアのサイズは 33030144 バイトです。

MD5

アップロードされたファイルの MD5 ハッシュ値を表示します。ファームウェアイメージファイルの配布元から示される MD5 ハッシュ値と一致しているかどうか確認してください。

バージョン

ファームウェアイメージファイルのバージョンを表示します。ファームウェアイメージファイルの配布元から示されるバージョン文字列と一致しているかどうか確認してください。

更新実行ボタン

更新実行ボタンを押すと、アップロードされたファームウェアイメージファイルによる本装置のファームウェア更新を開始します。

- ファームウェア更新中は、通話および Web 管理画面操作はできません。
- ファームウェア更新開始から、通話可能になるまでおよそ 6 分から 7 分かかります。
- ファームウェア更新中は電源を切らないでください。

キャンセルボタン

ファームウェア更新を中止し、アップロードされたファイルを破棄します。

4.4.53. 装置再起動

装置再起動関連のメニューを表示します。

4.4.53.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置再起動」

4.4.53.2. 画面イメージ

装置再起動	
装置再起動の実行	▶
本装置を再起動します。	
定期再起動設定	▶
本装置を定期的に再起動する設定を行います。	

装置再起動の実行

装置再起動の実行画面(4.4.54 節)へ移動します。

定期再起動設定

定期再起動設定画面(4.4.55 節)へ移動します。

4.4.54. 装置再起動の実行

本装置の再起動を行います。

4.4.54.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置再起動」→「装置再起動の実行」

4.4.54.2. 画面イメージ



再起動ボタン

装置の再起動を開始します。再起動完了までに約 2 分かかります。

4.4.55. 定期再起動設定

本装置を定期的に再起動する設定を行います。

4.4.55.1. 階層位置

サイドメニュー→「運用管理」→「装置再起動」→「定期再起動設定」

4.4.55.2. 画面イメージ

定期再起動設定

定期再起動機能

定期再起動を行う。
 定期再起動を行わない。

スケジュール

実行日: 毎週月曜日

時刻はHH:MMの形式で、24時間制で入力してください。

実行時刻: 03:30

OK

定期再起動機能

定期再起動を行うかどうか選択してください。

スケジュール

実行日を「毎週月曜日」～「毎週日曜日」および「毎日」から一つ選択してください。

実行時刻を指定してください。指定形式は HH:MM(時 2 桁:分 2 桁)です。

OK ボタン

入力内容を設定します。

4.4.56. イベントログ

イベントログの表示と設定を行います。

4.4.56.1. 階層位置

サイドメニュー→「イベントログ」

4.4.56.2. 画面イメージ



ログ設定

イベントログ設定画面(4.4.57 節)へ移動します。

フィルタ

現在設定されているフィルタ内容を表示します。クリックするとイベントフィルタ画面(4.4.58 節)へ移動します。

ダウンロード

イベントログファイル(5.2 節)をダウンロードします。

イベントログ一覧

ログ一覧を表示します。一覧は 10～20 秒間隔で自動更新します。

4.4.57. イベントログ設定

イベントログ記録についての設定を行います。

4.4.57.1. 階層位置

サイドメニュー→「イベントログ」→「ログ設定」

4.4.57.2. 画面イメージ



音声通話関連のイベントを記録しない

音声通話関連のイベントを記録しない場合にチェックしてください。

送信ボタン

入力内容を設定します。

4.4.58. イベントフィルタ

表示するイベントログの絞り込み設定を行います。

4.4.58.1. 階層位置

サイドメニュー→「イベントログ」→「フィルタ」

4.4.58.2. 画面イメージ

イベントフィルタ

フィルタ

フィルタ適用
 フィルタ解除

イベント種別

発信
 発信失敗
 着信
 着信拒否
 応答
 切断
 電波状態変化
 ソフトウェア更新状態通知
 SMS受信
 SMS送信
 SMS送達通知
 SMS送信失敗
 SMS送信予約実行
 日次集計
 起動
 停止

期間

① 日付はYYYY/MM/DDの形式で入力してください。

始点日:

終点日:

電話番号

電話番号:

表示順序

昇順
 降順

OK

フィルタ

フィルタを適用するかどうか選択してください。

イベント種別

表示するイベント種別を選択してください。複数選択可能です。すべてのチェックを外した場合は、イベント種別による絞り込みをしません。

期間

イベントのタイムスタンプによる絞り込みをします。期間の始点日と終点日を入力してください。始点日を入力しない場合

は記録されている最古のログから、終点日を入力しない場合は記録されている最新のログまでとなります。

入力する日付は、“YYYY/MM/DD”(西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁)です。

電話番号

電話番号による絞り込みを行います。

表示順序

タイムスタンプによる表示順を指定できます。昇順または降順を選択してください。

送信ボタン

入力内容を設定します。

4.4.59. ログアウト

Web 管理画面からログアウトします。

4.4.59.1. 階層位置

サイドメニュー→「ログアウト」

4.4.59.2. 画面イメージ



ログアウトボタン

ログアウトして、ログイン画面(4.4.3 節)に移動します。

4.4.60. SMS

SMS の送信フォームと送受信履歴を表示します。

4.4.60.1. 階層位置

サイドメニュー→「SMS」

4.4.60.2. 画面イメージ



送信フォーム

SMS の宛先、メッセージを入力して送信します。

宛先	メッセージの送信先電話番号を入力します。電話番号はカンマで区切って複数入力できます。指定できる電話番号の数は 100 件までです。 後述するスレッド表示の場合は、選択した電話番号を表示し変更不可とします。
メッセージ	送信メッセージを入力します。
送信ボタン	入力したメッセージを指定宛先に対して送信します。宛先に複数の電話番号を入力した場合は、複数の宛先に同じメッセージを送信します。

送受信履歴

送受信したメッセージの履歴を表示します。送受信日時降順で並びます。50件を1ページとし、「次のページ」、「前のページ」をクリックするとページを移動します。履歴は10～20秒間隔で自動更新します。

以下にメッセージ履歴の一部を示します。

相手の名前または電話番号	本文	付属情報	受信メッセージ(未読)	送信メッセージ	送信失敗メッセージ	選択コントロール
NA-001/F	MACアドレス=00:80:6d:77:81:0 バージョン=1.1.10, 電波強度=4, 温度=42.5		受信:2012/08/29 16:35:20 未読			-
NA-001/F	stat			送信:2012/08/29 16:35:05 送達済み:2012/08/29 16:35:45 +0900		-
スマホ1	文字コードテスト①②(株)~V			送信:2012/08/29 16:31:33 送達済み:2012/08/29 16:32:17 +0900		-
代々木	(送信失敗)qqqq			送信:2012/08/29 14:03:03 要因:キャンセル(他28件)		-

相手の名前または電話番号

各レコードの左側には送信あるいは受信相手の電話番号に対応する名前を表示します。電話帳に当該番号の登録がない場合は電話番号を表示します。クリックすると当該番号のスレッド表示画面(4.4.60.3節)へ移ります。

本文

メッセージの本文を表示します。

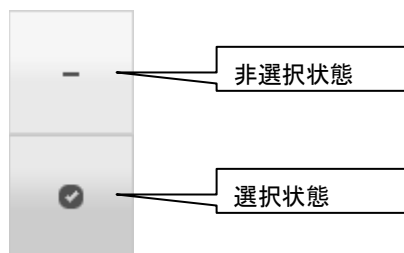
付属情報

次の情報を表示します。

項目	説明
送信／受信	送信メッセージか受信メッセージを区別し、続いて送受信日時を示します。
未読	受信メッセージで未読の場合に表示します。
送達済み／送達未確認	送信メッセージの場合、送達確認状況を示します。送達済みの場合は、その日時を示します。
要因	送信失敗時は、その要因を示します。

選択コントロール

各レコードの右側には選択コントロールを表示します。選択コントロールをクリックするとレコードの選択／非選択状態を反転します。



操作メニュー

送受信履歴の下側に操作メニューを表示します。

前ページ	フィルタ		次ページ
全選択	削除	未読/既読	全解除

前のページ/次のページ

ページを移動します。総ページ数、現在のページ数は画面タイトル部右端に表示します。



フィルタ

履歴一覧のフィルタ設定を行います。SMS フィルタ設定画面(4.4.61 節)へ移動します。フィルタボタンは、フィルタ適用状態によって色が変わります。



設定したフィルタ条件はログアウトすると初期化します。

全選択

現在のページの全レコードを選択状態にします。

削除

選択状態のレコードを削除します。

未読/既読

選択したレコードの未読/既読状態を反転します。

全解除

現在のページの全レコードを非選択状態にします。

4.4.60.3. 画面イメージ (スレッド表示)

スレッド表示画面では、履歴を対象番号でフィルタして表示します。また、送信フォーム宛先欄は対象番号を表示し変更不可となります。

SMS - スマホ1
ページ 1/2

宛先:
08010995375

メッセージ:

文字コードテスト①②(株)~V 送信:2012/08/29 16:31:33 送達済み:2012/08/29 16:32:17 +0900	-
こんばんは 送信:2012/08/24 21:16:39 送達済み:2012/08/24 21:16:46 +0900	-
(送信失敗)a 送信:2012/08/24 16:55:46 要因:圏外/電波強度弱	-
test 送信:2012/08/24 11:46:28 送達済み:2012/08/24 11:46:35 +0900	-

全選択

フィルタ
削除

未読/既読

次ページ
全解除

4.4.61. SMS フィルタ

SMS フィルタ画面では SMS 履歴一覧のフィルタ条件を設定します。

4.4.61.1. 階層位置

サイドメニュー→「SMS」→「フィルタ」

4.4.61.2. 画面イメージ

SMSフィルタ

フィルタ

フィルタ適用
 フィルタ解除

メッセージ種別

受信(既読)
 受信(未読)
 送信(送達済み)
 送信(送達未確認)
 送信失敗

期間

① 日付はYYYY/MM/DDの形式で入力してください。

始点日:
終点日:

検索文字列

文字列:

検索方式:

完全一致
 部分一致

検索対象:

本文
 名前
 電話番号

OK

フィルタ

フィルタ適用／解除を選択します。

メッセージ種別

対象メッセージ種別を次の中から選択します。複数指定できます。

- 受信(既読)
- 受信(未読)
- 送信(送達済み)
- 送信(送達未確認)
- 送信失敗

期間

対象メッセージの送受信日時を限定します。期間の始点日と終点日を入力してください。始点日を入力しない場合は記録されている最古のメッセージから、終点日を入力しない場合は記録されている最新のメッセージまでとなります。

入力する日付は、"YYYY/MM/DD"(西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁)です。

検索文字列

文字列による絞り込みを行います。検索対象は本文、名前、電話番号です。検索方式として完全一致か部分一致を選択できます。

OK ボタン

設定内容を適用し、SMS 画面へ戻ります。

4.4.62. 電話帳

電話帳メニューを表示します。

4.4.62.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」

4.4.62.2. 画面イメージ

電話帳	
電話番号一覧 登録済み番号の表示、番号の追加・削除を行います。	▶
グループ一覧 登録済みグループの表示、グループの追加・削除を行います。	▶
電話帳データファイル 電話帳データファイルの入出力を行います。	▶

電話番号一覧

電話番号一覧画面(4.4.63 節)へ移動します。

グループ一覧

グループ一覧画面(4.4.64 節)へ移動します。

電話帳データファイル

電話帳データファイル画面(4.4.65 節)へ移動します。

4.4.63. 電話番号一覧

電話番号の一覧を表示します。

4.4.63.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」

4.4.63.2. 画面イメージ

電話帳(電話番号一覧) ページ 2/10

追加 追加ボタン
新しい電話番号を追加します。

996件中2ページ目 件数 電話番号一覧

n19 1150019 グループ未参加 m19	<input type="radio"/>	-
n190 1150190 グループ未参加 m190	<input type="radio"/>	-
n191 1150191 グループ未参加 m191	<input type="radio"/>	-
n192 1150192 グループ未参加 m192	<input type="radio"/>	-
n193 1150193 グループ未参加 m193	<input type="radio"/>	-
n194 1150194 グループ未参加 m194	<input type="radio"/>	-
n195	<input type="radio"/>	-

前ページ	フィルタ		次ページ
		SMS送信	SMS予約
全選択	削除	グループ参加	全解除

操作メニュー

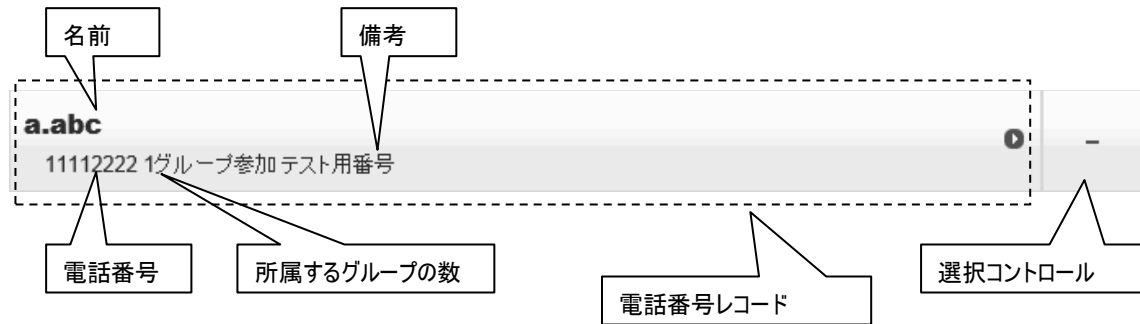
追加ボタン

電話番号登録画面(4.4.66 節)へ移動します。

件数

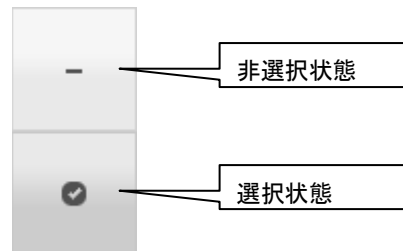
一覧中のレコードの数を示します。フィルタを適用している場合はフィルタされた後の数を示します。件数が 100 件を超える場合は、複数ページ表示となります。

電話番号一覧



電話番号 1 件につき電話番号レコードを 1 行表示します。電話番号レコードには名前、電話番号、グループ所属数、備考を表示します。レコードをクリックすると、当該電話番号の編集画面(4.4.67 節)へ移動します。

選択コントロールをクリックすると、レコードの選択状態を反転させます。



レコードの選択状態は、ページ移動しても維持されます。

操作メニュー

画面下部に操作メニューを表示します。

前ページ	フィルタ		次ページ
		SMS送信	SMS予約
全選択	削除	グループ参加	全解除

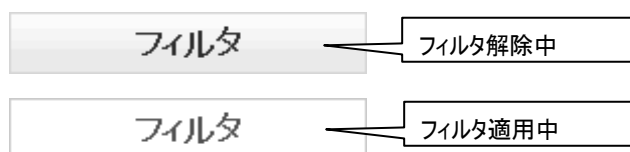
前のページ/次のページ

ページを移動します。総ページ数、現在のページ数は画面タイトル部右端に表示します。



フィルタ

「フィルタ」を押すと、電話番号フィルタ画面(4.4.68 節)へ移動します。フィルタを適用すると、条件に合ったレコードのみ一覧に表示します。フィルタボタンはフィルタを適用中かどうかで表示色が変わります。



設定したフィルタ条件はログアウトすると初期化します。

SMS 送信

「SMS 送信」を押すと、SMS 画面(4.4.60 節)へ移動します。SMS 画面の宛先欄には、選択したレコードの電話番号が入力されます。複数選択できます。

SMS 予約

「SMS 予約」を押すと、SMS 送信予約入力画面(4.4.76 節)へ移動します。SMS 送信予約入力画面の宛先欄には、選択したレコードの電話番号が入力されます、複数選択できます。

グループ参加

選択したレコードをグループに参加させます。グループ参加画面(4.4.69 節)へ移動します。

全選択

ページ内のレコードをすべて選択します。

削除

選択したレコードを削除します。

追加

電話番号登録画面(4.4.66 節)へ移動します。

全解除

ページ内のレコードの選択状態をすべて解除します。

4.4.64. グループ一覧

グループの一覧を表示します。

4.4.64.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」

4.4.64.2. 画面イメージ

電話帳(グループ一覧)			
追加 新しいグループを追加します。			
件数: 100			
g10 group10			-
g11 group11			-
g12 group12			-
g13 group13			-
g14 group14			-
g15 group15			-
g16 group16			-
	フィルタ	SMS送信	SMS予約
全選択	削除		全解除

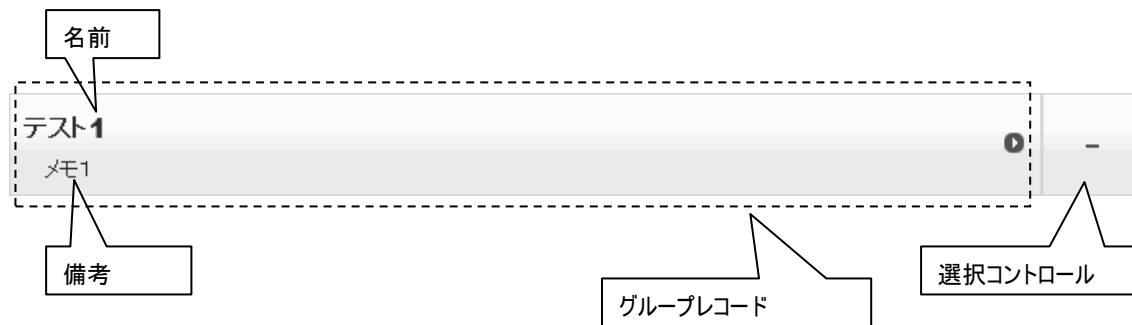
追加

グループ登録画面(4.4.70 節)へ移動します。

件数

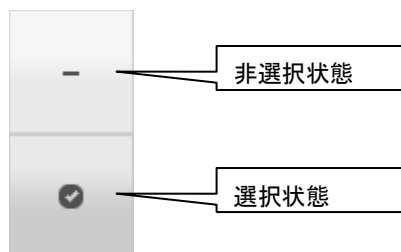
画面に表示しているレコードの数を示します。フィルタを適用している場合はフィルタされた後の数を示します。

登録済みグループレコード



グループ 1 件につきグループレコードを 1 行表示します。グループレコードには名前、備考を表示します。レコードをクリックすると、当該グループの編集画面(4.4.71 節)へ移動します。

選択コントロールをクリックすると、レコードの選択状態を反転させます。



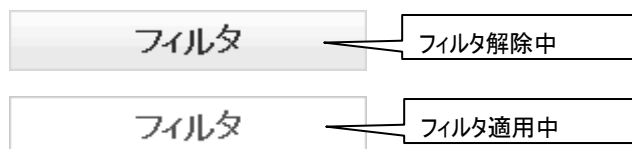
操作メニュー

画面下部に操作メニューを表示します。

	フィルタ	SMS送信	SMS予約
全選択	削除		全解除

フィルタ

「フィルタ」を押すと、グループフィルタ画面(4.4.73 節)へ移動します。フィルタを適用すると、条件に合ったレコードのみ一覧に表示します。フィルタボタンはフィルタを適用中かどうかで表示色が変わります。



設定したフィルタ条件はログアウトすると初期化します。

SMS 送信

「SMS 送信」を押すと、SMS 画面(4.4.60 節)へ移動します。SMS 画面の宛先欄には、選択したグループに所属する電話番号が入力されます。複数選択できます。

SMS 予約

「SMS 予約」を押すと、SMS 送信予約入力画面(4.4.76 節)へ移動します。SMS 送信予約入力画面の宛先欄には、

選択したレコードの電話番号が入力されます、複数選択できます。

全選択

表示されているレコードをすべて選択します。

削除

選択したレコードを削除します。

追加

グループ登録画面(4.4.70 節)へ移動します。

全解除

表示されているレコードの選択状態をすべて解除します。

4.4.65. 電話帳データファイル

電話帳データファイルメニューを表示します。

4.4.65.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話帳データファイル」

4.4.65.2. 画面イメージ



電話番号ファイルエクスポート

電話番号ファイル(5.5.1 節)をダウンロードします。

グループファイルエクスポート

グループファイル(5.5.2 節)をダウンロードします。

ファイルインポート

電話帳データファイルインポート画面(4.4.74 節)へ移動します。

4.4.66. 電話番号登録

電話番号を新規登録します。

4.4.66.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→「追加」

4.4.66.2. 画面イメージ

電話番号登録

電話番号:

① 名前にはスペース、カンマを含めないでください。
② 名前の先頭には次の文字を使わないでください。数字(0-9),+,-,*,#,@,\$

名前:

備考:

参加するグループを選択してください。

- G1
- G2
- G3
- グループ
- テスト1
- テスト2
- テスト3
- 中央

電話番号

登録する電話番号を入力してください。登録済みの番号と重複できません。

電話番号文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前

登録する名前を入力してください。登録済みの名前、グループ名と重複できません。

名前文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。

名前文字列の先頭には次の文字を使用できません。

数字(0-9)、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)

備考

この電話番号についての備考を入力してください。最大 32 文字です。文字種の制限はありません。

グループ

参加するグループを選択してください。

複数選択可能です。リスト上のグループ名を ctrl キーを押しながらクリックすることで複数選択できます。

登録ボタン

登録ボタンを押すとフォームの内容を登録します。

4.4.67. 電話番号編集

電話番号登録内容を編集します。

4.4.67.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→電話番号レコード

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」→グループレコード→所属メンバーレコード

サイドメニュー→「イベントログ」→イベントレコード→電話番号リンク

4.4.67.2. 画面イメージ

電話番号編集 - a.abc

電話番号:

- ❶ 名前にはスペース、カンマを含めないでください。
- ❷ 名前の先頭には次の文字を使わないでください。数字(0-9),+,-,*,#,@,\$

名前:

備考:

参加グループ数: 2

グループabc グループabc	▶	-
テスト1	▶	-

全選択	グループ削除	グループ参加	全解除
-----	--------	--------	-----

電話番号

電話番号を入力してください。登録済みの番号と重複できません。

電話番号文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前

名前を入力してください。登録済みの名前、グループ名と重複できません。

名前文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。

名前文字列の先頭には次の文字を使用できません。

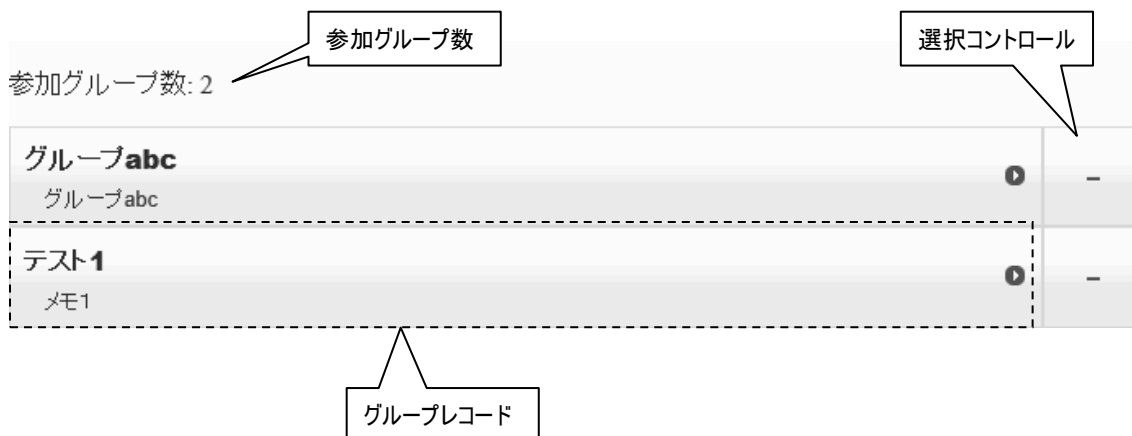
数字(0-9)、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)

備考

この電話番号についての備考を入力してください。最大 32 文字です。文字種の制限はありません。

参加グループ一覧

この電話番号が参加しているグループの一覧を表示します。



参加グループ数

この電話番号が参加しているグループの数を示します。

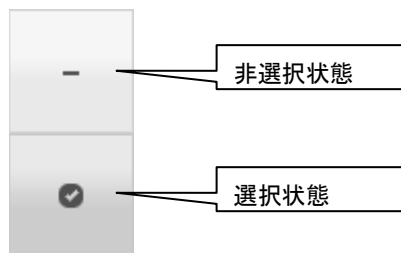
グループレコード

グループ 1 件につきグループレコードを 1 行表示します。

グループレコードには名前、備考を表示します。レコードをクリックすると、当該グループの編集画面(4.4.71 節)へ移動します。

選択コントロール

選択コントロールをクリックすると、レコードの選択状態を反転させます。



操作メニュー

画面下部に操作メニューを表示します。

全選択	グループ削除	グループ参加	全解除
-----	--------	--------	-----

全選択

表示されているレコードをすべて選択します。

グループ削除

選択したグループから離脱します。

グループ参加

グループ参加画面(4.4.69 節)へ移動します。

全解除

表示されているレコードの選択状態をすべて解除します。

4.4.68. 電話番号フィルタ

電話番号一覧におけるレコードのフィルタ条件を設定します。

4.4.68.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→「フィルタ」

4.4.68.2. 画面イメージ

電話番号フィルタ

フィルタ

フィルタ適用
 フィルタ解除

検索文字列

文字列:

検索方式:

完全一致
 部分一致

検索対象:

名前
 電話番号
 備考

OK

フィルタ

フィルタ適用／解除を選択します。

検索文字列

検索する文字列、検索方式、検索対象を指定します。

OK ボタン

入力内容を適用します。

4.4.69. グループ参加

電話番号をグループに参加させます。

4.4.69.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→「グループ参加」

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→電話番号レコード→「グループ参加」

4.4.69.2. 画面イメージ



グループ一覧

登録済みのグループ名一覧を表示します。参加したいグループ名をクリックし選択してください。CTRL キーを押しながらクリックすると複数選択できます。

グループ参加ボタン

選択したグループへ参加します。

キャンセルボタン

グループへ参加せずに前の画面へ戻ります。

4.4.70. グループ登録

グループを新規登録します。

4.4.70.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」→「追加」

4.4.70.2. 画面イメージ

グループ登録

❗ グループ名にはスペース、カンマを含めないでください。

❗ グループ名の先頭には次の文字を使わないでください。数字(0-9),+,-,*,#,@,\$

グループ名:

備考:

登録

グループ名

登録する名前を入力してください。登録済みの電話番号の名前、グループ名と重複できません。

名前文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。

名前文字列の先頭には次の文字を使用できません。

数字(0-9)、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)

備考

このグループについての備考を入力してください。最大 32 文字です。文字種の制限はありません。

登録ボタン

フォームの内容を登録します。

4.4.71. グループ編集

グループ登録内容を編集します。

4.4.71.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」→グループレコード

サイドメニュー→「電話帳」→「電話番号一覧」→電話番号レコード→参加済みグループレコード

4.4.71.2. 画面イメージ

グループ編集 - テスト1

❶ グループ名にはスペース、カンマを含めないでください。

❷ グループ名の先頭には次の文字を使わないでください。数字(0-9),+,-,*,#,@,\$

グループ名:

備考:

所属メンバー数: 2

a.abc	▶	-
11112222 テスト用番号		
t1	▶	-
1111 m1		

SMS送信			
全選択	メンバー削除	メンバー追加	全解除

グループ名

登録する名前を入力してください。登録済みの電話番号の名前、グループ名と重複できません。

名前文字列は最大 15 文字です。未入力のまま登録することはできません。

名前文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。

名前文字列の先頭には次の文字を使用できません。

数字(0-9)、プラス(+)、マイナス(-)、アスタリスク(*)、シャープ(#)、アットマーク(@)、ダラー(\$)

備考

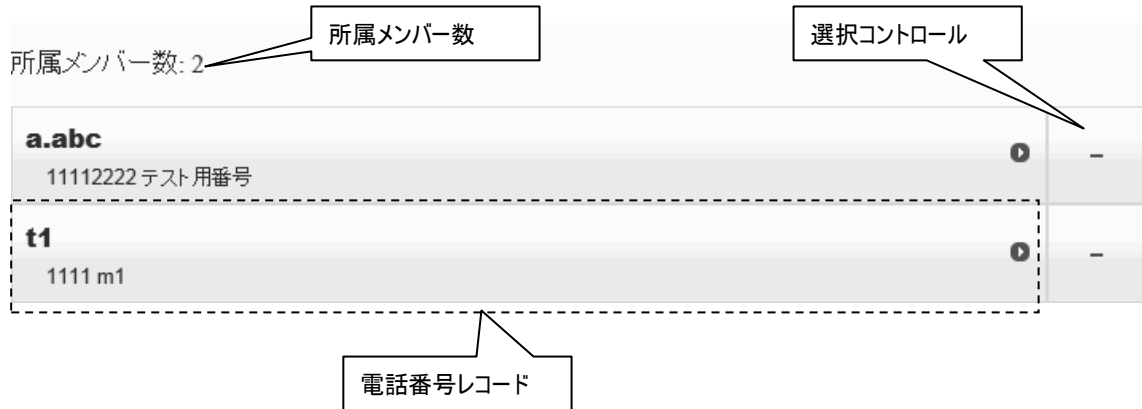
このグループについての備考を入力してください。最大 32 文字です。文字種の制限はありません。

登録ボタン

フォームの内容を登録します。

所属メンバー一覧

このグループに参加している電話番号の一覧を表示します。



所属メンバー数

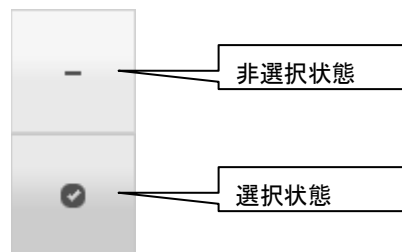
このグループに参加している電話番号の数を示します。

電話番号レコード

所属している電話番号 1 件につき 1 行を表示します。名前、電話番号、備考を表示します。クリックすると当該電話番号編集画面(4.4.67 節)へ移動します。

選択コントロール

選択コントロールをクリックすると、レコードの選択状態を反転させます。



操作メニュー

画面下部に操作メニューを表示します。

SMS送信			
全選択	メンバー削除	メンバー追加	全解除

SMS 送信

「SMS 送信」を押すと、SMS 画面(4.4.60 節)へ移動します。SMS 画面の宛先欄には、選択したレコードの電話番号が入力されます。複数選択できます。

全選択

表示されているレコードをすべて選択します。

メンバー削除

選択した電話番号をこのグループから離脱させます。

メンバー追加

このグループに電話番号を追加します。メンバー追加画面(4.4.72 節)へ移動します。

全解除

レコードの選択状態を解除します。

4.4.72. メンバー追加

グループに参加させる電話番号を選択します。

4.4.72.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」→グループレコード→「メンバー追加」

4.4.72.2. 画面イメージ



電話番号一覧

登録済み電話番号の名前の一覧を表示します。参加させたい名前をクリックし選択してください。CTRL キーを押しながらクリックすると複数選択できます。

メンバー追加ボタン

選択した電話番号をグループに参加させます。

キャンセルボタン

電話番号追加をせずに前の番号へ戻ります。

4.4.73. グループフィルタ

グループ一覧におけるレコードのフィルタ条件を設定します。

4.4.73.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「グループ一覧」→「フィルタ」

4.4.73.2. 画面イメージ

グループフィルタ

フィルタ

フィルタ適用
 フィルタ解除

検索文字列

文字列:

検索方式:

完全一致
 部分一致

検索対象:

名前
 備考

フィルタ

フィルタ適用／解除を選択します。

検索文字列

検索する文字列、検索方式、検索対象を指定します。

OK ボタン

入力内容を適用します。

4.4.74. 電話帳データファイルインポート

電話帳データファイルをインポートします。

4.4.74.1. 階層位置

サイドメニュー→「電話帳」→「電話帳データファイル」→「ファイルインポート」

4.4.74.2. 画面イメージ

電話帳データファイルインポート

電話番号ファイルおよびグループファイルを両方、あるいは一方を指定して「送信」ボタンを押してください。

電話番号ファイル

- ① 登録済みの電話番号およびグループを削除し、ファイルの内容を電話番号一覧に追加します。
- ② 登録済み電話番号を変更せずにグループのみ変更する場合は、この欄は空欄にしてグループファイルのみ指定してください。

ファイル選択:

グループファイル

- ① 登録済みのグループを削除し、ファイルの内容をグループ一覧に追加します。
- ② 電話番号のみ登録しグループの登録をしがない場合は、この欄を空欄にしてください。

ファイル選択:

電話番号ファイル

電話番号ファイルを指定してください。

グループファイル

グループファイルを指定してください。

送信ボタン

送信ボタンを押すと、ファイルをインポートします。ファイルの指定の仕方により次のような動作になります。

ファイル指定	動作
電話番号ファイル、グループファイルを指定した場合	電話番号一覧、グループ一覧をファイルの内容で置き換えます。
電話番号ファイルのみ指定した場合	電話番号一覧をファイルの内容で置き換えます。登録済みグループはすべて削除します。
グループファイルのみ指定した場合	登録済み電話番号は変更しません。グループのみファイルの内容で置き換えます。

4.4.75. SMS 送信予約画面

SMS 送信予約一覧を表示します。

4.4.75.1. 階層位置

サイドメニュー→「SMS 送信予約」

4.4.75.2. 画面イメージ

SMS送信予約	
追加	▶
新しいSMS送信予約を追加します。	
件数: 2 / 100	
2014/05/06 16:31	▶
#1 実行完了	
2014/05/06 16:36	▶
#2 実行待ち test	

追加

クリックすると SMS 送信予約入力画面(4.4.76 節)に移動します。

件数

登録されている予約数を表示します。予約最大数は 100 件です。

予約一覧

登録され散る予約の一覧を表示します。各予約には次の項目を表示します。

- 実行日時
- 状態(実行待ち/実行開始/実行完了/実行キャンセル)
- 備考

実行待ち/実行開始状態の予約は強調色表示とします。

クリックすると、当該予約の編集画面(4.4.76 節)に移動します。

4.4.76. SMS 送信予約入力画面

SMS 送信予約の新規追加および既存予約の編集を行います。

4.4.76.1. 階層位置

サイドメニュー→「SMS 送信予約」→「追加」または登録済み予約をクリック

4.4.76.2. 画面イメージ

SMS送信予約入力

予約情報

① 日付はYYYY/MM/DDの形式で入力してください。

日付:

① 時刻はHH:MMの形式で、24時間制で入力してください。

時刻:

備考:

予約番号: 1

状態: 実行完了

宛先:

メッセージ:

日付、時刻

予約実行日時を入力します。日付欄または時刻欄を入力しないで登録した場合は、現在日時から1分後を予約実行日時とします。

備考

この予約に対する備考文字列を入力できます。

予約番号

この予約に対して採番した番号です。この項目は既存予約の編集時にのみ表示します。

状態

予約の実行状態を示します。この項目は既存予約の編集時にのみ表示します。

状態	説明
実行待ち	予約実行待ち状態です。
実行開始	予約の実行を開始したことを示します。 クリックすると、予約実行結果画面へ移動します。
実行完了	予約の実行が完了したことを示します。 クリックすると、予約実行結果画面へ移動します。
実行キャンセル	予約の実行を取り消したことを示します。 予約実行日時時点で電源を落としていた場合に、予約を取り消します。

宛先

宛先を入力します。複数の宛先を改行で区切って入力することができます。電話帳経由で入力することができます。

メッセージ

本文を入力します。

予約ボタン

予約を登録します。このボタンは新規追加時にのみ表示します。

再予約ボタン

予約を登録しなおします。このボタンを既存予約の編集時に表示します。

削除ボタン

予約を削除します。このボタンは既存予約の編集時に表示します。

4.4.77. SMS 送信予約実行結果画面

SMS 送信予約実行結果を表示します。実行開始状態および実行完了結果状態の予約についてこの画面を表示できます。

4.4.77.1. 階層位置

メニュー→「SMS 送信予約」→登録済み予約をクリック→「実行開始」または「実行完了」をクリック

4.4.77.2. 画面イメージ

SMS送信予約実行結果#5	
08033513001(会社SIM_NA-001/S)	送信:2014/05/06 18:25:10 状態:送達済み(2014/05/06 18:25:14 +0900)
09024409896(NA-001/F)	送信:2014/05/06 18:25:15 状態:送達済み(2014/05/06 18:25:30 +0900)
1110000(新宿)	送信:2014/05/06 18:32:19 状態:送信失敗(コマンド実行エラー)
1110001(中野)	送信中
1110003(阿佐ヶ谷)	送信中
1110005(西荻窪)	送信中

宛先一覧

送信した宛先ごとにレコードを表示します。各レコードには次の項目を表示します。

- 宛先番号と電話帳登録名
- 送信実行日時
- 状態

状態には次の種類があります。

状態	説明
送信中	まだ送信していないか、再送している状態です。レコードを強調表示色で表示します。
送達未確認	送信したあと、送達通知を待っている状態です。
送達済み	送信した後、送達通知を受信した状態です。
送達エラー	送信した後、送達通知によってエラーを通知された状態です。
送信失敗	送信に失敗した状態です。レコードをエラー色で表示します。
キャンセル	送信を取り消したことを示します。送信中状態で再起動したり電源を落とした時に送信を取り消します。

4.5. SSH サーバ

SSH サーバは出荷時においては起動しない設定です。SSH サーバを起動する場合は、設定データファイルの admin セクションの sshd_enable オプションを True にしてください。変更後の設定データファイルをアップロードすると SSH サーバが起動します。

ログインアカウントとパスワードは次の通りです。

アカウント	root
パスワード	root

SSH サーバ機能は、障害調査やデバッグ用途で利用します。通常運用時は、SSH サーバを起動しないようにしてください。

5. ファイル仕様

5.1. 設定データファイル

5.1.1. ファイル形式

設定データファイルの形式は次の通りです。

ファイル形式	テキスト(INI ファイル形式)
改行コード	CRLF
文字コード	UTF-8

設定データはセクションおよびオプションで構成されます。オプションは値を格納します。セクションは、複数のオプションからなるグループです。ファイル内容は次のような形式となります。

コメント
[セクション]
オプション 1 = 値
オプション 2 = 値

ファイルの読み取りの際、”#”で始まる行および空行は無視します。

5.1.2. オプションの型

オプションは次のいずれかの型を持ちます。

型	説明
数値型	数字文字列を格納します。
文字列型	任意の文字列を格納します。
配列型	複数の値からなる型です。配列要素の値はすべて同一の型です。
真偽型	True か False を格納します。
日付型	YYYY/MM/DD の形式で日付を格納します。
電話番号型	電話番号を格納します。
電話番号プレフィックス型	電話番号プレフィックスを格納します。
IP アドレス型	IP アドレスを格納します。
スタティックルート型	スタティックルートを格納します。

配列型の記述について

配列型のオプションでは、複数の値を記述できます。値の区切りは改行です。各値の型はすべて同一です。以下は配列型の”blacklist”オプションに電話番号型の値 3 つを指定してる例です。

Blacklist =
08011111111
09099999999

09012345678

5.1.3. オプション説明

本装置の設定データファイルで定義されているオプションについて示します。

5.1.3.1. admin セクション

装置管理関係のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
machine_name	文字列 32 文字 (UTF-8)	装置名称	NA-001/F
hostname	文字列 63 文字	ホスト名	未指定
web_password	文字列	Web 管理画面の管理 用アカウントログインパス ワードのSHA-1ハッシュ	d033e22ae348aeb5660fc2140aec35850c4da997 (="admin"のハッシュ値)
sshd_enable	真偽	SSH サーバを起動する かどうか	False

5.1.3.2. telephone セクション

通話関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
volume	数値 0~5	受話音量	3
volume_tx	数値 0~5	送話音量	3
digittimer	数値 0~6	ダイヤル桁間タイムアウト(秒)	4
numberdisplay	真偽	着信電話番号を電話機に通知するかどうか	False
check_radio	真偽	音声発信、SMS 送信前に電波強度のチェックをするかどうか	True
dtmf_atcmd	真偽	通話中の DTMF 送出的際に、AT コマンドを送信するかどうか。	True
disconnectsignal	真偽	電話機へ切断信号を送信するかどうか。	True

5.1.3.3. telephone.blockcalls セクション

着信拒否関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
policy	文字列	着信拒否ポリシー none: 着信拒否しない blacklist: ブラックリストを拒否 whitelist: ホワイトリスト以外を拒否 phonebook: 電話帳に登録されていない宛先を拒否 whitelist: グループに所属しない宛先を拒否 blackgroup: グループに所属する宛先を拒否 all: すべて拒否	none
group	文字列 16文字	policyでwhitelist, blacklistを指定した場合の 対象グループ名	未指定
whitelist	配列	ホワイトリスト 要素の型は電話番号型です。	未指定
blacklist	配列	ブラックリスト 要素の型は電話番号型です。	未指定

5.1.3.4. telephone.blockorig セクション

発信拒否関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
policy	文字列	発信拒否ポリシー none: 発信を拒否しない phonebook: 電話帳に登録されていない宛先を拒否 whitelist: グループに所属しない宛先を拒否 blackgroup: グループに所属する宛先を拒否 all: すべての発信を拒否	none
group	文字列 16文字	policyでwhitelist, blacklistを指定した場合の 対象グループ名	未指定

5.1.3.5. telephone.prefix セクション

番号プレフィックス関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
remove_prefix	真偽	番号プレフィックスの除去を行うかどうか	False
prefixlist	配列	除去対象の番号プレフィックス配列 要素の型は電話番号プレフィックスです。	未指定

5.1.3.6. net.interface.eth0 セクション

Ethernet インタフェース関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
ipaddr	IP アドレス	IP アドレス	192.168.254.254
netmask	IP アドレス	ネットマスク	255.255.255.0
gateway	IP アドレス	デフォルトゲートウェイアドレス	未指定
dhcp	真偽	DHCP クライアントを使うかどうか	False

5.1.3.7. net セクション

インタフェース以外のネットワーク関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
routes	配列	スタティックルート値の配列 値の形式は次の通りです。 “(宛先) via (ゲートウェイ) dev (インタフェース)” 宛先にネットワークを指定する場合は CIDR 表記となります。	未指定
dnsservers	配列	DNS サーバアドレスの配列 値は IP アドレス型です。最大 2 個までです。	未指定

5.1.3.8. datetime.sync セクション

時刻同期関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
sync	文字列	時刻同期の方法 none: 同期しない module: 通信モジュールと同期 ntp: NTP サーバと同期	none
ntpserver	文字列 255 文字	NTP サーバ名	未指定

5.1.3.9. syslog.config セクション

SYSLOG 設定関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
hide_phonenumber	真偽	電話番号文字列を隠すかどうか	True

5.1.3.10. syslog.forwarding セクション

SYSLOG 転送関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
func	真偽	転送するかどうか	False
server	文字列 255 文字	外部 SYSLOG サーバ名	未指定
protocol	文字列	プロトコル udp: UDP を利用 tcp: TCP を利用	udp
port	数値 0~65535	宛先ポート番号	514
priority	文字列	転送するログプライオリティ debug: DEBUG 以上 info: INFO 以上 notice: NOTICE 以上	info

5.1.3.11. eventlog セクション

イベントログ設定関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
nolog_call	真偽	通話関連のイベントを記録しないかどうか	False

5.1.3.12. eventlog.filter セクション

イベントログフィルタ関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
func	真偽	フィルタをかけるかどうか	False
eventlist	配列	対象イベント ev_tel_orig: 発信 ev_tel_dialfail: 発信失敗 ev_tel_ring: 着信 ev_tel_blockcall: 着信拒否 ev_tel_conn: 応答 ev_tel_cend: 切断 ev_tel_creg: 電波状況変化 ev_tel_fotaind: ソフトウェア更新状態変化 ev_tel_smssubmit: SMS 送信 ev_tel_smsdeliver: SMS 受信 ev_tel_smsstatusreport: SMS 送達通知 ev_tel_smssubmitfail: SMS 送信失敗	未指定

		ev_smsschedule_exec: SMS 送信予約実行 ev_daily_report: 日次集計 ev_sys_start: 起動 ev_sys_stop: 停止	
start_date	日付	対象期間起点日	未指定
end_date	日付	対象期間終点日	未指定
peer	電話番号	対象電話番号	未指定
isascend	真偽	昇順にするかどうか	False

5.1.3.13. gui セクション

画面設定関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
theme	数値 1~4	画面テーマの選択	3
user_password	文字列	Web 管理画面のユーザアカウントログインパスワードのSHA-1 ハッシュ	12dea96fec20593566ab75692c9949596833adc9 (="user"のハッシュ値)

5.1.3.14. sms セクション

SMS 関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
retry	数値 0,2,5,10	SMS 送信再送回数	2

5.1.3.15. sms.remocon セクション

SMS リモート制御関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
command	真偽	SMS リモート制御機能を使うかどうか	False
numbers	配列	SMS リモート制御メッセージ送信元の電話番号。最大 3 個までです。	指定なし

5.1.3.16. schedule.reboot セクション

定期再起動関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
--------	---	----	-----

func	真偽	定期再起動を行うかどうか	False
dow	文字列	実行日 Everyday: 毎日 Monday: 月曜日 Tuesday: 火曜日 Wednesday: 水曜日 Thursday: 木曜日 Friday: 金曜日 Saturday: 土曜日 Sunday: 日曜日	Everyday
	time	実行時刻	03:00

5.1.3.17. sendmail.smtp セクション

メール送信設定関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
func	真偽	メール送信をするかどうか	False
smtpaddr	文字列 255 文字	SMTP サーバ名	未指定
smtpport	数値 0~65535	SMTP サーバポート番号	25
smtpsecurity	文字列	接続保護設定 none: なし ssl: SSL starttls: STARTTLS	none
fromaddr	文字列	送信元メールアドレス	未指定
fromname	文字列 16 文字	送信者名	未指定
authtype	文字列	認証方式 none: なし popbefore: POP before SMTP smtp: SMTP 認証	none
authuser	文字列 256 文字	認証ユーザ ID	未指定
authpass	文字列 256 文字	認証パスワード	未指定
pop3addr	文字列	POP3 サーバ名	未指定

	255 文字		
pop3port	数値 0~65535	POP3 サーバポート番号	110

5.1.3.18. sendmail.events セクション

イベントメール送信設定関連のセクションです。

オプション名	型	説明	初期値
destaddrs	配列	宛先メールアドレス。最大 3 個までです。	指定なし
eventlist	配列	対象イベント名 ev_tel_orig: 発信 ev_tel_dialfail: 発信失敗 ev_tel_ring: 着信 ev_tel_blockcall: 着信拒否 ev_tel_conn: 応答 ev_tel_cend: 切断 ev_tel_creg: 電波状況変化 ev_tel_fotaind: ソフトウェア更新状態変化 ev_tel_smssubmit: SMS 送信 ev_tel_smsdeliver: SMS 受信 ev_tel_smsstatusreport: SMS 送達通知 ev_tel_smssubmitfail: SMS 送信失敗 ev_smsschedule_exec: SMS 送信予約実行 ev_daily_report: 日次集計 ev_sys_start: 起動 ev_sys_stop: 停止	指定なし

5.2. イベントログダウンロードファイル

5.2.1. ファイル形式

イベントログ画面よりダウンロードするイベントログファイルの形式は次の通りです。

ファイル形式	テキスト(csv ファイル形式)
改行コード	CRLF
文字コード	UTF-8
カラム区切り	カンマ
レコード数	最大 500 件

5.2.2. CSV ファイルレコードフォーマット

レコードフォーマットはイベント毎に異なります。

5.2.2.1. 発信イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_orig
3	イベント名	「発信」(UTF-8)
4	電話番号	宛先電話番号
5	通話種別	0: 音声通話 1: 緊急通報(110/118/119)
6	通話シーケンス番号	通話ごとに更新される連番です。同一通話の応答、切断イベントと同じ値になります。
7	未使用	
8	未使用	

5.2.2.2. 発信失敗イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_dialfail
3	イベント名	「発信失敗」(UTF-8)
4	電話番号	宛先電話番号
5	未使用	
6	未使用	
7	要因	bar_low: 電波強度が低いため at_result_error: リザルトコードがエラーを示した(第 8 カラムにコードを格納)

		at_cme_error: コマンド実行エラー(第 8 カラムにエラー内容を格納) at_timeout: ダイアルタイムアウト blockcall_all: 全発信拒否設定のため blockcall_blacklist: ブラックリスト記載の番号のため blockcall_whitelist: ホワイトリスト非記載の番号のため
8	エラー情報	要因が at_result_error, at_cme_error の場合に追加情報を格納します。

5.2.2.3. 着信イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_ring
3	イベント名	「着信」(UTF-8)
4	電話番号	着信電話番号
5	番号通知の有無	0: 通知あり 1: 発信者の設定による番号非通知 2: 不明
6	通話シーケンス番号	通話ごとに更新される連番です。同一通話の応答、切断イベントと同じ値になります。
7	未使用	
8	未使用	

5.2.2.4. 着信拒否イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_blockcall
3	イベント名	「着信拒否」(UTF-8)
4	電話番号	着信電話番号
5	番号通知の有無	0: 通知あり 1: 発信者の設定による番号非通知 2: 不明
6	未使用	
7	要因	blockcall_all: 全着信拒否設定のため blockcall_blacklist: ブラックリスト記載の番号のため blockcall_whitelist: ホワイトリスト非記載の番号のため blockcall_cli_user: 発信者設定による番号非通知のため

8	未使用	
---	-----	--

5.2.2.5. 応答イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_conn
3	イベント名	「応答」(UTF-8)
4	電話番号	接続先電話番号
5	通話種別	0: 音声通話 1: 緊急通報(110/118/119)
6	通話シーケンス番号	通話ごとに更新される連番です。同一通話の発信、着信、切断イベントと同じ値になります。
7	未使用	
8	未使用	

5.2.2.6. 切断イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_cend
3	イベント名	「切断」(UTF-8)
4	電話番号	接続先電話番号
5	通話時間	応答から切断までの秒数
6	通話シーケンス番号	通話ごとに更新される連番です。同一通話の発信、着信、応答イベントと同じ値になります。
7	未使用	
8	発着信種別	in: 着信 out: 発信

5.2.2.7. 電波状態変化イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_creg
3	イベント名	「電波状態変化」(UTF-8)
4	未使用	
5	状態	0: 圏外

		1: 圏内 2: ネットワーク検索中 3: 接続拒否 4: 不明 5: ローミングネットワーク圏内
6	未使用	
7	未使用	
8	未使用	

5.2.2.8. ソフトウェア更新状態通知イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_fotaind
3	イベント名	「ソフトウェア更新状態通知」(UTF-8)
4	未使用	
5	状態	0: ソフトウェア更新開始 1: ソフトウェア更新不要 2: ソフトウェア更新完了 3: ソフトウェア更新失敗
6	未使用	
7	未使用	
8	未使用	

5.2.2.9. SMS 送信イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_smssubmit
3	イベント名	「SMS 送信」(UTF-8)
4	電話番号	宛先電話番号
5	参照番号	センターから通知されたこのメッセージに対する参照番号です。このメッセージに対する送達通知の参照番号と同じ値となります。
6	メッセージ種別	1: ユーザーメッセージ 12: リモート応答
7	未使用	
8	メッセージ	メッセージ本文(UTF-8)

5.2.2.10. SMS 受信イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_smsdeliver
3	イベント名	「SMS 受信」(UTF-8)
4	電話番号	送信元電話番号
5	未使用	
6	メッセージ種別	1: ユーザーメッセージ 11: リモートコマンド
7	SCTS	受信データ内の SCTS フィールド値
8	メッセージ	メッセージ本文(UTF-8)

5.2.2.11. SMS 送達通知イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_smsstatusreport
3	イベント名	「SMS 送達通知」(UTF-8)
4	電話番号	宛先電話番号
5	参照番号	対応する送信メッセージの参照番号です。
6	状態	0: 送信成功 その他: 送信失敗
7	SCTS	送達通知データ内の SCTS フィールド値
8	DT	送達通知データ内の DT フィールド値

5.2.2.12. SMS 送信失敗イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_tel_smssubmitfail
3	イベント名	「SMS 送信失敗」(UTF-8)
4	電話番号	宛先電話番号
5	メッセージ数	複数のメッセージの送信失敗時に、そのメッセージ数を格納します。
6	未使用	
7	要因	bar_low: 電波強度が低いため sms_send_error: SMS 送信コマンド実行エラー canceled: 送信実行キャンセル

8	本文	メッセージ本文(UTF-8)
---	----	----------------

5.2.2.13. SMS 送信予約実行イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_smsschedule_exec
3	イベント名	「SMS 送信予約実行」(UTF-8)
4	未使用	
5	予約番号	予約に対して割り当てた番号です。
6	状態	3: キャンセル 5: 開始 6: 完了
7	備考	備考文字列(UTF-8)
8	未使用	

5.2.2.14. 日次集計

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_daily_report
3	イベント名	「日次集計」(UTF-8)
4	未使用	
5	未使用	
6	未使用	
7	対象日時	集計対象の日時
8	発信回数	音声発信の回数
9	着信回数	音声着信の回数
10	通話時間(発信呼)	発信呼の通話時間合計
11	通話時間(着信呼)	着信呼の通話時間合計
12	SMS 送信数	SMS の送信数
13	SMS 受信数	SMS の受信数

5.2.2.15. 起動イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時

2	イベント ID	ev_sys_start
3	イベント名	「起動」(UTF-8)
4	未使用	
5	未使用	
6	未使用	
7	バージョン	起動時のファームウェアバージョン文字列
8	未使用	

5.2.2.16. 停止イベント

カラム	項目	説明
1	タイムスタンプ	イベント発生日時
2	イベント ID	ev_sys_stop
3	イベント名	「停止」(UTF-8)
4	未使用	
5	稼働時間	イベント発行時の uptime 秒数
6	未使用	
7	未使用	
8	未使用	

5.3. SYSLOG ダウンロードファイル

5.3.1. ファイル形式

SYSLOG 画面よりダウンロードするファイルの形式は次の通りです。

ファイル形式	ZIP 形式(無圧縮)
アーカイブ内容	最新の SYSLOG テキストファイルおよび過去 9 世代分のローテートファイル(gzip 圧縮)

5.4. テクニカルサポート情報ダウンロードファイル

5.4.1. ファイル形式

装置基本情報画面よりダウンロードするテクニカルサポート情報ファイルの形式は次の通りです。

ファイル形式	テキスト
改行コード	CRLF

5.4.2. ファイル内容

テクニカルサポート情報は次の項目からなります。

項目	説明
hostname	ホスト名
current datetime	ダウンロード時点のシステム日時
firmware version	稼働中のファームウェアバージョン
uptime	起動してからの経過時間
Linux kernel module	ロードされている Linux カーネルモジュール
system memory	メモリ利用状況
loadavg	CPU 負荷平均
disk usage	ファイルシステム利用状況
disk usage (inode)	ファイルシステム(inode)利用状況
mount	ファイルシステムマウント状況
process	プロセス状況
network interface	ネットワークインターフェースの設定状況
routing table	ルーティングテーブル
resolv.conf	利用中の DNS サーバアドレス
ARP table	ARP テーブル
netstat	ネットワーク状態表示
lsusb	USB デバイス情報
system unit	システムサービスの状態

sdcard partition	SD カードパーティション情報
ext board register	拡張ボードレジスタ情報
codec control register	拡張ボードレジスタ情報 2
codec data memory register	拡張ボードレジスタ情報 3
temperature	筐体内温度
ubiquitous module info	通信モジュール情報

5.5. 電話帳ファイル

電話帳ファイルには次の 2 種類があります。

ファイル	説明
電話番号ファイル	電話番号と名前を対応させるファイルです。
グループファイル	グループと所属する名前を対応させるファイルです。

5.5.1. 電話番号ファイル

5.5.1.1. ファイル形式

ファイル形式	テキスト(csv ファイル形式)
改行コード	CRLF
文字コード	UTF-8
カラム区切り	カンマ
レコード数	最大 1000 件

5.5.1.2. CSV ファイルレコードフォーマット

レコードのフォーマットは次の通りです。#で始まる行および空行は無視します。

カラム	項目
1	名前
2	電話番号
3	備考

制限事項

- 名前文字列は最大 15 文字です。
- 名前文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。
- 名前文字列の先頭には次の文字を使用できません。

数字 (0-9)、プラス (+)、マイナス (-)、アスタリスク (*)、シャープ (#)、アットマーク (@)、ダラー (\$)

- 名前の重複登録はできません。
- 電話番号の重複登録はできません。
- 備考文字列は最大 32 文字です。

5.5.2. グループファイル

5.5.2.1. ファイル形式

ファイル形式	テキスト(csv ファイル形式)
改行コード	CRLF
文字コード	UTF-8
カラム区切り	カンマ
レコード数	最大 100 件

5.5.2.2. CSV ファイルレコードフォーマット

レコードのフォーマットは次の通りです。#で始まる行および空行は無視します。

カラム	項目
1	グループ名
2	備考
3 以降	所属メンバー名

制限事項

- グループ名文字列は最大 15 文字です。
- グループ名文字列には、スペースおよびカンマを含めることはできません。
- グループ名文字列の先頭には次の文字を使用できません。

数字 (0-9)、プラス (+)、マイナス (-)、アスタリスク (*)、シャープ (#)、アットマーク (@)、ダラー (\$)

- グループ名の重複登録はできません。
- 所属メンバー名は電話番号一覧に登録されている必要があります。
- 1 グループに登録できるメンバー数は 100 個までです。
- 備考文字列は最大 32 文字です。

5.6. SD カード

5.6.1. メディア

製品に添付する SD カードメディアは次の仕様です。

サイズ	1 ギガバイト以上
タイプ	SLC

5.6.2. フォーマット

SD カードは次のパーティション構成とします。

パーティション	サイズ	ファイルシステム	内容
データ交換用	128Mbytes	FAT	Windows 等の外部装置とのデータ交換用 ボリューム名は"NA001F"
データ蓄積用	残り全部	EXT2	稼働中のログ書き込み用

5.6.3. データ交換用パーティション

データ交換用パーティションには次のファイルを格納します。

ファイル	説明
config.txt	設定データファイル(5.1 節) 起動時に読み込みます。起動時に本ファイルがない場合は、各種設定値は初期値(5.1.3 節)となります。 Web 管理画面による設定変更時に書き出します。
Config.bak	設定データファイルバックアップ 前回正常に読み込んだ設定データファイルをリネームしたものです。

5.6.4. データ蓄積用パーティション

データ蓄積用パーティションには次のディレクトリを作成します。

ファイル	説明
app	アプリケーション用ディレクトリです。イベントログや SMS を蓄積します。
Log	SYSLOG や HTTPD ログを蓄積します。
Ssh	SSH サーバが使用する鍵ファイルを格納します。

6. 制限事項

6.1. アナログ電話機

アナログ電話機は、DTMF 信号を発行できる必要があります。パルス式の電話機は利用できません。FAX 装置、通信モデム装置は利用できません。

6.2. 通信モジュール

FOMA ユビキタスモジュールがもつ次の機能はサポートしません。

- FOMA パケット通信機能

7. 更新履歴

版数	日付	変更内容
1	2016/11/22	初版